安息日聖書教科

# クリスチャンの管理職（II）

Vol. 88, No.2
2012年4月-6月

# 目次


| | |
|---|---|
| 創造主にして所有者 | 5 |
| 最高の与え主 | 10 |
| 心を尽くした自発的な奉仕 | 15 |
| 奉仕における熱心さ | 20 |
| 精力と効果 | 26 |
| 金銭 | 31 |
| 什一 | 36 |
| 諸献金 | 41 |
| 神の倉：このお方の教会 | 47 |
| ご自分のみ働きに資金を供給する神のご計画 | 52 |
| 聖書的な財務の原則 | 57 |
| 全世界を明るくする | 62 |
| わたしたちの最後の機会！ | 67 |



セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部（P.O.Box 7240 Roanoke,Virginia 24019-0240,U.S.A）

安息日聖書教科 Vol.88,No.2

編集＆発行：
ＳＤＡ改革運動日本ミッション

〒368－0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ケ久保1607－1

TEL：(0494) 22-0465

FAX：(0494) 26-5059

URL：
http//www.4angels.jp

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト：Illustrations: SermonView on front cover; DesignPics on pp.25, back cover; MapResources on p. 4, 46, back cover.


**安息日聖書教科**は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔　〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。


*Printed in Japan*

# まえがき

わたしたちは、残り時間がわずかしかありません！160 年以上ものあいだ、この古い惑星は、栄光の雲に乗ったキリストの来臨のために機が熟していました。わたしたちは、この終わりの時にどこに焦点をあわせるべきでしょうか。もちろん、天のカナンです―そして、そこにいるために、どのように自分たち自身と他の人々を準備させるか―ということです。

わたしたちの今期の研究主題は、クリスチャンの管理職の続きです。この地上において、イエスは、自分は若い頃から十誡すべてを守ってきましたと主張する人に出会われました。

「イエスは彼に目をとめ、いつくしんで言われた、『あなたに足りないことが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい』。」（マルコ 10:21）。

わたしたちは天に宝を蓄えているでしょうか。あるいは、若い富んだ役人のように、表向きは十誡を守りながら、主人のための真心からの奉仕には欠けているでしょうか。神がわたしたちに与えてくださったすべてのものは、このお方に属しているのであり、わたしたちは自分たちの恩恵期間が閉じる前に、このための備えをしなければなりません。しかし、「従順と無我の愛がなければ、最も富んだ捧げ物も万物の所有者であられるお方に捧げるにはあまりにも取るに足りない」（教会への証 3 巻 57）。神の子らが利己心を克服し、地上における伝道の働きのためのご計画を果たすというのが、神のご目的です。神はいま、この働きをなすための民を準備しておられます―そして、それはすべての人がそれに参加する特権をつかもうとつかむまいと成し遂げられるのです。

「眠っており、とがと罪のうちに死んでいる世に警告を与える人々を、神は召しておられる。このお方は働きに心をささげ、魂が滅びず、永遠の命を持つことができるように、彼らのために重荷を感じている人々から自由献金を求めておられる。サタンは、人の魂で命のゲームをしている。彼は資金を確保し、それを凍結して、伝道事業の前進に用いられることがないようにしようとしている。わたしたちはサタンの策略に無知でいるのであろうか。彼がわたしたちの感覚を麻痺させるのを許してしまうのであろうか。」（同上 6 巻 446）

「何のためにわたしたちは宝を蓄えるのであろうか。終わりの日の炎に一掃されるためであろうか。わたしたちは裁きの日にわたしたちに不利な証言をするために―わたしたちの肉を火のようになめつくすために―、金銀を蓄えるのであろうか。わたしたちが敵の手に落ちるときまで自分たちの財産に執着するのであろうか。戒めの遵守者たちが売ることも買うこともできなくなるときが近づきつつある。家屋や土地、銀行株や商品は、そのときわたしたちにとって、何の役に立つであろうか。今こそ、わたしたちの宝を永遠の安全なところにおくべき時である。……わたしたちが神のみ事業にお捧げするものは、永遠にわたしたち自身のものとなる。キリストは、『むしろ自分のため、……天に、宝をたくわえなさい』と言われる（マタイ 6:20）。わたしたちの持っているもののうち、これらだけが本当にわたしたちのものとなるのである。地上に蓄えるものはすべて、最終的に後に残さなければならない。わたしたちが永遠の世界へ持っていくことができるのは、唯一わたしたちがキリストのためにお捧げするものだけである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1887 年 12 月 6 日〔筆者強調〕）

*世界総会安息日学校支部*

## 第一安息日献金
## ブラジル
## ピンドラマの礼拝堂のために

「山に登り、木を持ってきて主の家を建てよ。そうすればわたしはこれを喜び、かつ栄光のうちに現れると主は言われる」（ハガイ 1:8）。2000 年以上も前に書かれ、エルサレムにある第二の宮のために言及したこのメッセージは、今日もまだ効力があります。

この最終時代の神の教会のメッセージが宣布される灯台の建設が、急務です。

「どの町でも都市でも関心が起こったなら、その関心のための働きを継続すべきである。その場所で、しるし、つまり神の安息日の記念碑、また道徳的な闇の中の光として、つつましい礼拝の家が建てられるまで徹底的な働きがなされるべきである。これらの記念碑は、多くの場所で真理に対する証人となるべきである。神はその憐れみのうちに、福音の使者があらゆる国々、国語、民族へ行って、真理の旗印が世界中の人の住むすべての場所に建てられるまでの備えをして下さった。

信者の群れができたならば、礼拝の家が建てられるべきである。働き人は、これが成し遂げられる前に、その場所を去ることがないようにしよう。」（福音宣伝者 431）

伝道精神を持った兄弟たちのグループが、サンパウロからおよそ 50 キロメートルほどのピンドラマ（モジ・ダス・クルースの近く）で集会を始めました。求道者と参加者の数が増え、新しい礼拝の家を建てる必要があるのは明らかです。この場所で、兄弟たちの小さなグループが医事伝道の分野で働き、成功しています。わたしたちは近い将来、自分たち自身の礼拝堂を持つことを希望しています。

この目的を果たすために、世界中の兄弟姉妹の皆さんに、この礼拝堂の建設を可能とするため、惜しみない献金をもって貢献してくださるよう特別な助けをお願いいたします。どうぞ、4 月の第一安息日には、この特別な献金を覚えてください。

「わたしの考えはこうである。少ししかまかない者は、少ししか刈り取らず、豊かにまく者は、豊かに刈り取ることになる。各自は惜しむ心からでなく、また、しいられてでもなく、自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さるのである」（コリント第二 9:6, 7）。

みなさんの時機にかなった支援に心からお礼を申し上げます。

*ピンドラマの兄弟姉妹より*

# 創造主にして所有者

**「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。」（黙示録 4:11）**

「永遠に自存し、創造されたおかたでなく、自らすべてのものの根源であって維持者であられる主だけが、最高の尊敬と礼拝をお受けになる資格がある。」（人類のあけぼの上巻 356）

推奨文献：ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 290–295

## 日曜日　*4月1日*

**1.　　創造主にして維持者**

**a.　創造の壮大な素晴らしさを眺めるときに、何を悟るべきですか（詩篇 19:1–3; イザヤ 40:18, 21, 26）。**

「〔詩篇 19:1–3 引用〕。ある人々は、これらの自然界の偉大なものが神だと思うかもしれない。それらは神ではない。諸天におけるこれらのすべての不思議は、ただ自分たちに定められた働きをなしているだけである。それらは神の代理人である。神が万物の創造主であり、また監督者であられる。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 294）

**2.　神の全能の特質のどのような面が、日々わたしたちに触れますか（使徒行伝 17:24–29）。**

「人の身体器官は、神の監督の下にある。しかし、それは一度動き始めるように設定されたら、自動的に進む時計のようなものではない。心臓は鼓動し、脈は打ち続け、呼吸に呼吸が続く。しかし、存在全体は神の監督の下にある。……鼓動の一つ一つ、呼吸の一つ一つは、アダムの鼻に命の息をふきこまれたお方の息を吸い込むこと―絶えず存在する神、偉大なわたしは有って有る者の息を吸い込むことである。」（同上 294, 295）

**2.　　敬神にふさわしい**

**a.　神が絶えず、わたしたちの礼拝を受けるにふさわしい唯一のお方であることを示すのは、どのような事実ですか（詩篇 33:6–9; エレミヤ 10:9–13）。**

「異邦の神々にまさって崇敬と礼拝を神がお求めになる根拠は、神が創造者であり、その他のものはみな神に創造されて存在するからである。」（人類のあけぼの上巻 396）

「神なる存在者が、ご自分の創造されたものを支える働きをしておられる。山々を支え、それらを配置している同じみ手が、太陽の周りを巡る神秘的な進行において諸世界を導いておられる。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 294）

**b.　どのような問いがわたしたちに神への敬神を吹き込むべきですか（ヨブ 11:7; 38:1–7）。この敬神は、どのようにわたしたちの魂の救いを促しますか。**

「神聖な霊感は、最も深い思索をなす学者にも答えられない多くの問いを投げかける。それらの問いは、答えられるものとして発せられるのではなく、神の神秘に目を向け、人の知恵には限りがあることを悟らせるためのものである。日々の平凡な事柄の中にも、わたしたちの有限な理解力を超えた神秘が存在すること、神の裁きと目的は探り出すことができず、このお方の知恵ははかりがたいことを知らせるためである。このお方がもしご自分を人に表されるとしても、それはこのお方の厚い神秘の雲に覆われている。

神のご目的は、ご自身について人に知らせるよりも隠すことである。人が神の道や働きを完全に理解することができたら、神を無限のお方として信じないことであろう。このお方はその知恵においても、理性においても、目的においても、人によって理解されることはない。『その道は測りがたい』（ローマ 11:33）。このお方の愛は、決して自然の法則に基づいて説明することができない。もしそれができるとすれば、わたしたちは自分たちの魂の利益をかけてこのお方に信頼することはないであろう。懐疑論者は、自分たちの有限な思いでは、神がご自分を人にあらわされる無限な力を理解できないからといって、信じることを拒む。人間の身体機構でさえ、完全に理解することはできない。それはもっとも偉大な知性を持つ人をも当惑させる神秘を提示する。」（ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [ Ｅ．Ｇ．ﾎﾜｲﾄｺﾒﾝﾄ ]3 巻 1141）

**3. 真の所有権**

**a. 財産の所有権に関して、神はいつもわたしたちに何を理解するよう望んでおられますか（詩篇 50:7, 10–12）。**

「主は……すべての事において、主を第一にすべきことを、イスラエルに教えようとなさった。こうして彼らは、神が彼らの畑、彼らの牛や羊の持ち主であり、神が日光や雨を送って、穀物を生長させ、実らせて下さったことを思い起こさせられたのである。彼らの持ち物は、すべて神のものであった。」（患難から栄光へ下巻 17）

「わたしたちの体は神に属している。このお方は魂と同様に体のためにも贖いの代価を支払ってくださった。『あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだと霊とをもって、神の栄光をあらわしなさい』『からだは不品行のためではなく、主のためであり、主はからだのためである』（コリント第一 6:19, 20 英語訳 , 13）。創造主は、人間の身体機構を見守り、それを動かし続けておられる。このお方の継続的な見守りがなければ、脈は打たず、心臓の活動は止まり、脳はもはやその活動をしなくなる。」（健康についての勧告 586）

**b. 神の財産はどこまで及びますか（詩篇 24:1, 2; 申命記 10:14）。これはわたしたちにとって何を意味しますか（黙示録 4:11）。**

「宇宙の唯一無二の所有者がおられることを、またすべての人はその時間、知性、資金ともども、魂のための贖い代を支払ってくださったお方に属していることを考えなさい。神は継続的な奉仕と最高の愛情を正当にご自分のものとして主張なさる権利がある。あなたの楽しみではなく、神の御旨があなたの標準となるべきである。」（セレクテッド・メッセージ 2 巻 137）

「自分たちが神に対してこのような関係にあることをいつも自覚している人びとは、食欲を満足させるだけで消化器官には害となるような食物を胃に入れたりはしない。彼らは不適応な飲食や衣服の習慣をほしいままにすることによって、神の財産をそこなうようなことはしない。神と協力して働くためには体を大事にしなければならないことを自覚し、体を本当に大切にする。神は彼らを健康に、幸福に、そして役立つ者にしたいと望まれる。しかし彼らがそうなるためには、彼らは自分たちの意志を神の側におかねばならない。」（家庭の教育 430）

**4.　　だれに支配権があるか**

**a.　神は地上の財産に対して、だれに支配権を委ねられましたか（創世記 1:26–28）。なぜ、これは人類にとって栄誉なのですか（詩篇 8:1–9）。**

「星空を高くすえ、野の花を巧みに飾りみ力の奇跡によって、驚くべきものを天地の間に満たされたおかたは、その輝かしいみわざの最後を飾るにあたって、人間をこの美しい世界の統治者としておたてになったが、それは生命の賦与者のわざに恥じないものであった。霊感によって与えられた人類の系図は、その起源を、細菌、軟体動物、四足獣などの進化の跡をたどるのでなくて、偉大な創造主に帰着させる。アダムは、土のちりで造られたが、『神の子』であった（ルカ 3:38）。」（人類のあけぼの上巻 18）

**b.　アダムの堕落のゆえに、欺瞞者はキリストに対して何を誇りましたか（ルカ 4:5, 6）。**

**c.　いつ、この地球に対するキリストの支配権は完全に回復されますか（ダニエル 7:13, 14, 26, 27; ミカ 4:8; 黙示録 11:15）。**

「サタンが、この世の王国と栄華は自分の手に渡されているのだから、自分は望むままにだれにでもこれを与えることができるのだと宣言したとき、彼の言ったことは一部分しか真実でなく、また彼は自分自身の欺瞞の目的に役立てるためにそれを宣言したのだった。サタンの主権はアダムから横取りしたものであったが、アダムは創造主の代理者だった。アダムの支配は独自の支配ではなかった。地は神のもので、神は万物をみ子におまかせになっていた。アダムはキリストの支配下にあって統治するのであった。アダムが統治権をサタンの手に売り渡したときにも、キリストは依然として正当な王であられた。だから主は、ネブカデネザル王に、『……いと高き者が、人間の国を治めて、自分の意のままにこれを人に与え』と言われた（ダニエル 4:17）。サタンは神のゆるしがあるときだけ、その横取りした権威を行使することができる。」（各時代の希望上巻 143, 144）

「キリストは、預言者ダニエルが言っているように、天の日の老いたる者から、『主権と光栄と国』とを賜わるのである。彼は、『夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえ』たみ国の首都、新しいエルサレムをお受けになる（ダニエル書 7:14、黙示録 21:2）。み国を受けたのちに、彼はご自分の民を救うために、王の王、主の主として栄光のうちに来られる。そして彼らは、天国で『アブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席に』つき、小羊の婚宴にあずかるのである（マタイ 8:11、ルカ 22:30 参照）。」（各時代の大争闘下巻 143）

## 木曜日 *4月5日*

**5.　　委ねられた管理職**

**a.　どの程度であれ―大きくても小さくても―支配権がわたしたちに委ねられたときはいつでも、どの訓告に注意を払うべきですか（申命記 8:11–18）。**

「わたしたちは自らを主の財産の管理者として、また神を最高の所有者として、すなわち、このお方がご自分のものを要求されるときには、わたしたちがお返しすべきお方としてみなすべきである。」（教会への証 4 巻 480, 481）

**b.　主が来臨なさる直前のこの最終時代に、どのメッセージに特別な力がありますか（ルカ 19:11–13）。**

「神はわたしたちを僕と呼ばれるが、これはわたしたちがしかるべき働きをなすために、このお方によって雇われ、しかるべき責任を負っていることを示唆している。このお方はわたしたちに投資のための資本を貸し与えられた。それは、わたしたちの財産ではない。であるから、もしわたしたちが主の財産を貯めこんで、自分たちの好きなように使うならば、神のご不興を買うことになる。……

主人に戻されたタラント一つ一つは、詳細に調べられることになる。神の僕のなしたことや、信任が重要でない問題だと見なされることはない。各自は、個人的に扱われ、自分に委ねられたタラントを活用したか、もしくは濫用したかの会計報告を要求されることになる。タラントの活用に比例して報いが与えられる。濫用されたタラントには、それに従って刑罰が与えられる。……

タラントはわたしたちの手中にある。わたしたちはそれらを神の栄光のために用いるのであろうか、あるいはそれらを濫用するのであろうか。わたしたちは今日それらをもって取引をすることができるが、明日はわたしたちの恩恵期間が終わって、わたしたちの会計報告が永遠に決まるかもしれないのである。」（同上 2 巻 668〔筆者強調〕）

## 金曜日 *4月6日*

**個人的な復習問題**

1. **わたしたちの創造主は、わたしたちを支えるお方でもあることを明らかにしている事実は何ですか。**
2. **なぜ、神だけが礼拝をお受けになるのにふさわしいのですか。**
3. **神がすべてのものを所有しておられること、またこのお方が人間に地上の支配権をお委ねになったことを考えるとき、わたしたちはどのように応えるべきですか。**
4. **サタンの強奪した権威について何を理解すべきですか。**
5. **わたしたちが財産を委ねられるとき、どのような誘惑がおとずれますか。**

# 最高の与え主

**「あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。」（ヤコブ 1:17）**

「神は愛である。太陽の光のように、愛と光と喜びは、神からすべての被造物に流れ出る。与えることが神のご性格である。神の生命そのものが無我の愛のほとばしりである。」（祝福の山 95）

推奨文献：管理職への勧告 72
神の驚くべき恵み 62

## 日曜日　*4月8日*

**1.　　神のご品性の特質**

**a.　人類に命をお与えになった後、そのほか神は何を備えてくださいましたか（創世記 2:7, 15）。なぜ、これがわたしたちにとって祝福なのですか（伝道の書 5:12, 18）。**

「アダムは怠惰ではなかった。創造されるやいなや、彼に自分の仕事が与えられた。彼は神が創造されたものを世話することに仕事と幸福を見出し、彼の労働に応えて、エデンの園の果物からその必要が豊かに満たされるのであった。」（両親・教師・生徒たちへの勧告 273, 274）

**b.　わたしたちを愛する神の豊かな愛を日々表す証拠は、何ですか（詩篇 36:5–9; 使徒行伝 14:17）。**

「わたしたちは存在している一瞬一瞬を、またあらゆる人生の慰めも神に負っている。」（管理職への勧告 17）
「わたしたちは実のたわわになっている木々を、あたかも神がわたしたちの手中に実をおいてくださったかのように、神の賜物とみなすべきである。」（彼を掲げよ 62）

**2. 神の最大の賜物**

**a. 何が神の最大の賜物ですか（ヨハネ 3:16; エペソ 2:4–7）。**

「福音の宝であり、道であり、真理であり、命であるお方が〔ユダヤの人々〕の中におられたにもかかわらず、彼らは天からの最大の賜物を拒んでしまったのである。」（キリストの実物教訓 81）

「キリストはご自身の血という代価をもってわたしたちを買われた。このお方はわたしたちの贖いのために、代金を支払われた。であるから、もしわたしたちが宝を持つとしたら、それは神の無償の賜物によってわたしたちのものとなるのである。」（教会への証 9 巻 245）

**b. 御父からご自分への賜物として、キリストはご自分に従う人々に、何を約束なさいましたか（ヨハネ 6:37–39; 17:24）。この事実は、なぜすべての人を勇気づけるべきなのですか（ヤコブ 1:17, 18）。**

「どれほど神が人間を愛しておられるかを、わたしたちは決して量ることができない。宇宙はこのお方の計り知れない慈善の証拠で満ちている。

キリストは、この世のすべてに対して権利をもっておられる。『すべての事は父からわたしに任せられています』とこのお方は言われた（ルカ 10:22）。『父がお持ちになっているものはみな、わたしのものである』『わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた』（ヨハネ 16:15; マタイ 28:18）。天地におけるすべてのものはこのお方に奉仕している。天の愛の偉大な賜物は、御父のふところに閉じ込められているべきではなかった。それはキリストに、困窮している人類に与えられるのであった。

キリストは恵みとまことに満ちておられる。このお方はすべてにおけるすべてであられる。そうであれば、人間は自分自身に栄光をもっていかないようにしよう。栄光は神の御子に与えられるべきである。今もこれからも永遠に、このお方がすべての讃美をお受けになるべきである。」（バトル・クリーク・レター 65）

「われわれは天父の賜物であり、イエスの働きの報いであるから、イエスはわれわれを愛されるのである。イエスは、われわれをご自分の子として愛される。読者よ、イエスはあなたを愛される。天そのものは、イエスよりも偉大なもの、イエスよりもよいものを与えることができない。」（各時代の希望中巻 281）

「最も完全で、安心した、高尚な態度で、救いのためにイエスの愛に信頼することは、あなたの特権である。また、このお方はわたしを愛しておられる、わたしを受け入れてくださる、このお方がわたしのために命を与えて下さったがゆえに、わたしはこのお方に信頼する、と言うことがあなたの特権である。キリストの品性と接触するようになることほど、疑いを晴らすものはない。」（牧師への証 517）

**3. キリストとはだれか**

**a. 天父を創造主として崇敬するときに、わたしたちはまたイエス・キリストについて何を理解すべきですか（ヘブル 1:1–3; ヨハネ 1:1–3）。**

「もしキリストが万物を造られたのであれば、このお方は万物よりも先に存在しておられたのである。このことに関して述べている言葉は非常にはっきりしており、だれも疑いのうちに取り残されることはない。キリストは本質において、また最高の意味において、神であられる。このお方は永遠のとこしえから神と共におられた。万物の神は永遠にほむべきかな。」（彼を掲げよ 16）

**b. 何に基づいて、キリストはわたしたちの礼拝を受け、わたしたちを弟子とする権利をもっておられるのですか（エペソ 3:9; ピリピ 2:5–10）。**

「神が人に与えうる最高の賜物は、ご自分の愛する御子という賜物のうちに与えられた。『ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか』と使徒は言う（ローマ 8:32）。何一つ差し控えられてはいない。第二の恩恵期間が備えられることは決してない。もし神の言い尽くせない賜物が、人を悔い改めに導かないのであれば、その心を動かせるものは何もない。人の思いに働きかけて、彼の感受性を呼び覚ますための力は何一つ差し控えられていない。神のご品性がそのままその御子のうちに示されており、天の全領域の可能性が無限なるお方の御子のうちに人を受け入れるために表されている。人が神と天にもどる道にはどのような障壁もない。比類のない救い主の愛の深さが示されてきた。そしてもし、人の子らを愛するこの神の愛の現れが、人を神ご自身に引き寄せる力を持たないならば、ほかに引き寄せるものは何もないのである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1889 年 12 月 30 日）

「使徒パウロは、聖霊の感動をうけて筆をとり、キリストについて、『いっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている』（コロサイ 1:16, 17）と言明している。すべての世界を空間にささえ、宇宙の万物を整然たる秩序と倦むことのない活動の中に保つみ手は、われわれのために十字架に釘づけされたみ手である。」（教育 143, 144）

**4.　　天の原則**

**a.　キリストの地上生涯の模範から、わたしたちはどのような基礎的な概念を学ぶべきですか（ルカ 22:27 下句 ; ヘブル 5:8; 12:2, 3）。**

「救いの計画の基礎は、犠牲のうちに据えられている。イエスは宮廷を去って、貧しくなられたが、それはご自分の貧しさを通して、わたしたちが富む者となるためであった。神の御子によってこれほどの無限の犠牲をもって買われたこの救いにあずかるすべての人は、真の型であられる模範に従うのである。キリストは隅のかしら石であられた。そしてわたしたちはこの基礎の上に建てなければならない。各自、自己否定と自己犠牲の精神を持たなければならない。地上におけるキリストの生涯は無我であった。それはへりくだりと犠牲に特徴づけられていた。そして人々は、すなわちイエスが自分たちに与えるために天から来られた偉大な救いにあずかる人々は、自分たちの主に従うことや、このお方の自己否定と犠牲にあずかることを拒むのであろうか。」（教会への証 3 巻 387〔筆者強調〕）

**b.　どのような意味において、わたしたちはキリストの犠牲の模範に喜んで従うべきですか（ペテロ第一 2:21; ローマ 12:1, 2）。**

「キリストは、人が天を獲得することを可能にするために、すべてを犠牲にして下さった。今度は堕落した人類が、自分自身で不死の栄光を勝ち得ることができるように、キリストのために何を犠牲にするかを示す番である。救いとその代価の大きさをいくぶんでも正しく自覚している人々は、自分たちの種まきが涙のうちになされ、争闘と自己否定がこの世におけるクリスチャンの分だからといって、決してつぶやいたりはしない。」（同上 481）

「〔キリストは〕ご自分の栄光、その支配権、富をわきへおき、罪のうちに滅びつつある人々を探し求められた。わたしたちを天にまで高めることができるように、このお方はわたしたちの必要にまで身を低くされた。犠牲、自己否定、そして私心のない慈善がこのお方の生涯を特徴づけていた。このお方はわたしたちの型であられる。……あなたはこの型であるお方を模倣してきたであろうか。」（同上 2 巻 549）

『あなたがたは、……自分自身のものではない』『あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ』（コリント第一 6:19, 20）という言葉を、記憶の部屋にかけておき、いつもわたしたちのタラント、財産、感化力、そしてわたしたち個々人そのものに対するこのお方の権利を認めることができるようにすべきである。わたしたちは、キリストの買われた所有物として、このお方に健全で芳しい奉仕をなすことができるように、思い、魂、体における神のこの賜物をどのように扱うかを学ぶべきである。」（医事伝道 276）

## 木曜日 *4月12日*

**5.　　与えられた恵み**

**a.　恵みとは何ですか―そして、それはなぜわたしたちの救いに不可欠なのですか（ローマ 5:6–9; エペソ 2:8, 9）。**

「恵みとは価しない者への恩寵であって、信じる者は自分自身に何の功績もなく、また神に申し上げる何の権利もなく、義認される。彼はキリスト・イエス、すなわち罪人の身代わりかつ保証人として天の宮廷に立っておられるお方のうちにある贖いを通して義認される。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 398）

「〔救い主の〕恵みは罪を征服するのに十分である。」（信仰によってわたしは生きる 87）

**b.　わたしたちは神の豊かな恵みに対して、どのように答えるべきですか（エペソ 2:10; テトス 2:11–14）。**

「よいわざには、本当に価値がないのであろうか。毎日罰せられることなく罪を犯す罪人は、キリストを信じる信仰を通して、誠実にわざを行おうと努力している人々と同じ恩寵をもって見られているのであろうか。聖書は、次のように答えている。〔エペソ 2:10 引用〕。

主はご自分の神聖な取り決めのうちに、その価しない者への恩寵を通して、よいわざが報いられるように定められた。わたしたちはただキリストの功績を通してのみ受け入れられる。わたしたちのなす憐れみの行為、愛の行いは、信仰の実である。そして、それらはわたしたちにとって祝福となる。なぜなら、人は自分のわざに従って報いられることになるからである。

わたしたちの良いわざを神に受け入れられるものとするのは、キリストの功績の香である。そして、神がわたしたちに報いて下さる働きをなすことができるようにするのは、恵みである。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 3 巻 199, 200）。

「あなたのすべてのよいわざは、あなたを救うことができない。しかし、それにもかかわらず、よいわざなくして、救われることも不可能である。キリストのために払われる犠牲の一つ一つは、あなたの永遠の利益となる。」（同上 147）

## 金曜日 *4月13日*

**個人的な復習問題**

1.　エデンのときより神から与えられている単純な賜物をいくつかあげなさい。
2.　神の最大の賜物は、どのように相互関係を伴っていますか。
3.　キリストが実際にどなたであるかを理解することは、なぜ重要なのですか。
4.　救いの計画全体の土台となっている原則は何ですか。
5.　天国のための準備の際、恵みは贖われた人々にどのような力を与えますか。

# 心を尽くした自発的な奉仕

**「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。」（マルコ 12:30）**

「全存在―心、魂、思い、力―が、神の奉仕に用いられるべきである。神に捧げられずに残っているものは何であろうか。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1900 年 11 月 6 日）

推奨文献： 初代文集 432–436

## 日曜日　*4 月 15 日*

**1.　　奉仕のための動機**

**a.　キリストに従うと公言する多くの人々は、弟子の身分のどのような側面について、しばしば見逃していますか（マルコ 8:34; ヨハネ 15:19, 20）。**

「〔キリストの〕おどろくべき欠乏を模倣し、このお方の苦しみと迫害に耐え、他の人々に光をもたらすための骨折りの働きにあずかろうと望んでいる者はほとんどいない。しかし、わずかな者は、この生涯の試練に耐え、日ごとの務めを果たすための力を求めて、熱心にしばしば神に祈る模範に従うであろう。」（教会への証 2 巻 664）

**b.　真の奉仕と偽の奉仕は、どのように対照的ですか（ヨブ 31:24–28; 29:11–16）。なぜ、わたしたちは自分たちの動機を再度、吟味しなければならないのですか。**

「多くの人の場合、世のごみが魂の水路を詰まらせている。利己心が思いを支配し、品性をゆがめている。キリストと共に神のうちに命が隠されているならば、このお方の奉仕は、骨折り仕事ではない。もし心を尽くして神に献身しているならば、だれでもなすべきことを見出し、働きに参加することを切望するはずである。彼らはすべての水のほとりにまき、実りがあるように祈り、信じるはずである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1878 年 12 月 19 日）

**2. キリストの教えの基調**

**a. 今日、キリストご自身とこのお方の多くの自称信徒の間には、どのような残念な対比が存在しますか（ピリピ 2:5–8, 21）。**

「救いの計画は非常に広く、深く、高くて、量りがたい犠牲のうちに立てられた。キリストは天に残られたまま、この堕落した世界にご自分の御使を送られたのではなかった。そうではなく、ご自身が宿営の外に出られて、非難に耐えられた。このお方は悲しみの人、病を知っている人となられた。ご自身がわたしたちの悪を引き受けられ、わたしたちの弱さを負われた。だから、このお方に従うと公言する人々のうちに自己否定がないとき、神はクリスチャンの名を否定することだとみなされる。キリストと一つであると公言しながら、富や高価な衣服や家具や食物を求める利己的な願望にふける人々は、名前だけのクリスチャンである。クリスチャンであるということは、キリストに似ているということである。

しかし、使徒の言葉はなんと真実なことであろう。『人はみな、自分のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことは求めていない』（ピリピ 2:21）。多くのクリスチャンには、自分たちの帯びている名にふさわしいわざがない。彼らは無限の代価を払って果たされた贖いの計画をまったく聞いたことがないかのように行動する。主要な目的は、この世で自分自身の名をはせることである。彼らは世の形式や儀式を適用して自己放縦のために生きる。彼らは世と同じように、自分自身の目的を追い求め、こうして神の王国を設立するのを助ける自分たちの努力をやめてしまうのである。」（管理職への勧告 54）

**b. キリストは、今日ご自分に従うすべての人々に、どのような天の原則を課されましたか。それは、なぜですか（マタイ 16:24–26）。**

「きよめの祝福を受けようとする人たちは、まず自己犠牲の意味を学ばなければならない。キリストの十字架は、『永遠の重い栄光』のかかる主柱である（コリント第二 4:17）。〔マタイ 16:24 引用〕。神に対するわれわれの愛を示すものは、同胞に対するわれわれの愛のかおりである。魂に休息をもたらすのは、奉仕における忍耐である。」（患難から栄光へ下巻 263）

「わたしたちは、人類が永遠の命を持つことができるように、十字架の死にご自分を渡すまで〔キリスト〕を導いたのと同じ自己犠牲を実践すべきである。」（教会への証 9 巻 49）

**3. 使徒から学ぶ**

**a. 男女の魂を思う使徒パウロの熱心な愛の秘訣は何でしたか（コリント第二 4:15–18; 5:14, 15）。**

「キリストがこれほどの犠牲を払われた人々が、どうしてこのお方の賜物を利己的に楽しみ続けることができるであろうか。このお方の愛と自己否定は比類のないものである。そしてこの愛がこのお方に従う人々の経験に入るとき、彼らは自分たちの関心を、贖い主の関心と同一にする。彼らの働きは、キリストの王国を築くこととなる。彼らは自分自身と自分の財産をこのお方にお捧げし、どちらもこのお方のみ事業が要求する通りに用いるのである。」（管理職への勧告 55）

「魂の中にあるイエスの愛は、言葉や行いに表れる。キリストの王国が何にもまして重要なものとなる。自己は神の祭壇の上に自発的な捧げ物として置かれる。真にキリストと一致しているすべての者は、神の御子がその王座と高い指揮権を後にされた愛、またわたしたちがご自分の貧しさを通して富んだ者となれるために貧しくなられたのと同じ愛を、魂のために感じるのである。」（同上）

**b. 使徒ヨハネは、どの傾向について、信徒たちに警告していますか。また、これはどのようにわたしたちに当てはまる可能性がありますか（ヨハネ第一 2:15–17）。**

「クリスチャンだと公言している者として、わたしたちは何をしているであろうか。魂はわたしたちの周りの至る所に、わたしたちの家庭の近くに、また遠くにいて、その罪のうちに、警告も受けず、顧みられることもなく、滅びつつある。毎日、わたしたちはこの世で希望もなく神もない人々のそばを行き交い、彼らにキリストとその愛について語るために一度も自分たちの唇を開いたことがない。世にあるものに夢中になり、男女は魔法にかけられている。……キリストの十字架の兵士は、神が働いて下さるように、すなわち、人々のいるところに届くため、このお方の力が人間の代理人に協力して下さるように求める祈りをもって天へ向かっているべきである。」（原稿リリース 8 巻 95）

「多くの人々が、すべての障害が取り除かれるまで待っているあいだに、世では希望もなく神もない魂が死につつある。多くの、実に多くの人々が、世俗的な利点のために、また科学の知識を習得するために、あえて疫病の地域に入っていき、自分たちが商業的な利益を得られると思う国々へと入っていく。しかし、自分たちの模範のうちにキリストが現れていることを人々が見て、影響力を及ぼすことができるように、住まいを変えて、自分たちの家族を真理の光を必要としている地域へ移す男女はどこにいるであろうか。」（管理職への勧告 56）

**4.　純潔な、悔いた心**

**a.　キリストの僕として、わたしたちの信仰は、何に特徴づけられているべきですか（エペソ 6:6–8）。**

「尊い、不朽の嗣業が、地上の価値のない宝によって覆い隠される危険性はないであろうか。あなたの有用さが損なわれ、あなたの信仰が弱められ、あなたの魂の宮が売買人で汚される危険性がある。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 19 日）

**b.　キリストは、ご自分の公生涯の間、なぜ第十条を繰り返されたのですか（出エジプト記 20:17; ルカ 12:15）。この方面において、どのように勝利を得るべきですか（コリント第一 15:31）。**

「キリストがわたしたちの模範であられる。このお方はわたしたちのために命を犠牲として下さった。そして、このお方はわたしたちに自分たちの命を他の人々の犠牲として与えるように求められる。こうして、わたしたちはサタンが絶えず心に植えつけようとやっきになってる利己心を追い出すことができる。この利己心はすべての敬神にとって死であり、神への愛とわたしたちの同胞への愛を表すことによってのみ克服することができる。キリストは利己的な人を一人として天の宮に入ることを許されない。貪欲な人はだれも真珠の門をくぐることはできない。なぜなら、すべての貪欲は偶像だからである。」（管理職への勧告 26）

「継続的な自己否定の慈善は、利己心と貪欲という蔓延する罪に対する神の治療法である。神はご自分のみ事業を支え、苦しむ人や困窮している人々の必要を救援するために、組織だった慈善を取り決められた。このお方は与えることが習慣となるべきことを定め、こうして危険な欺きの罪である貪欲を阻止できるようになさった。絶えず与えることは、貪欲を飢え死にさせる。組織だった慈善は、貪欲な人が宝を得たときと同じくらいすみやかにそれらを引き離し、そして主に、すなわち、それらの宝の属しているお方にお捧げするように神の取り決めのうちに計画されている。……

富は人を利己的にし、貯めこむことは貪欲を養う。そして、これらの悪は実際に働かせることによって強まる。神はわたしたちの危険を知っておられ、わたしたちを自分自身の破滅から守るための手段をもってめぐり囲んで下さった。このお方は慈善を絶えず実行するように要求なさる。こうして良いわざをなす習慣の力が反対方向への習慣の力を打ち破ることができるためである。」（教会への証 3 巻 548）

## 木曜日 *4月19日*

**5.　　本物の奉仕をお捧げする**

**a.　マケドニアにおける初期のクリスチャンたちの模範によって、わたしたちはどのように励ましを受けることができますか（コリント第二 8:1–5）。**

「マケドニヤの信者たちは、ほとんどすべて、この世の財産は乏しかったが、彼らの心は、神と神の真理に対する愛に燃えていた。そして彼らは、福音を支えるために喜んでささげた。ユダヤの信者たちの救援のために、異邦人教会において広く献金が集められたときに、マケドニヤの改心者たちの物惜しみしない精神が、他の教会の模範として掲げられた。」（患難から栄光へ下巻 23）

**b.　キリストは信徒としてのわたしたちの義務をどのように要約なさいましたか（マルコ 12:29–31）。わたしたちがこの原則を日常生活の中に持ち込むときに、何が起こりますか（マタイ 7:24, 25）。**

「存在全体が、主人の奉仕のために捧げられるべきである。」（世界総会冊子 1901 年 4 月 16 日）

「だれも、言葉では決して表現できないことを自覚しない限り、本当にキリストと一つになり、このお方の教訓を実践し、このお方の抑制のくびきに服することはできない。新しく豊かな思想が彼にもたらされる。知性に光が、意志に決意が、良心に敏感さが、想像力に純潔さが与えられる。心はもっとやわらかく、思いはもっと霊的になり、奉仕はもっとキリストのようになる。その生活には、言葉では表現できないこと―心と思いと魂と力の献身、すなわち主人のみ働きに対する真実で忠実な愛の献身―が見られる。」（教会への証 6 巻 476, 477）

## 金曜日 *4月20日*

**個人的な復習問題**

1. **ヨブの生涯は、どのようにキリストの精神を反映していましたか。**
2. **もし勝利者になりたいならば、わたしたちはどのような一般的な傾向を克服しなければなりませんか。**
3. **永遠の価値を培うことについて、パウロとヨハネはわたしたちに何を教えていますか。**
4. **なぜ、貪欲はわたしたちの魂にとって、それほど有害なのですか。**
5. **心を尽くした奉仕は、この地上生活においてさえ、どのように報いられますか。**

第４課　　安息日 2012 年 4 月 28 日

# 奉仕における熱心さ

**「すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。」（黙示録 3:19）**

「神から与えられた恩典はみな、もっと熱烈な精神をもち、活発に努力して、神のみ旨の遂行を活発に行なうための神の手段である。」（人類のあけぼの上巻 425）

推奨文献：　文書伝道 154, 155.

## 日曜日　*4 月 22 日*

**1.　必要とされている新しい態度**

**a.　わたしたちは、つぶやきや二心の奉仕に対するキリストの警告から、何を学ぶべきですか（マタイ 25:14, 15, 18, 24–30）。**

「どれほど多くの人々が、一タラントの僕が考えたように、主はきびしい方で、おあずけにならなかったものを取りたて、まかなかったものを刈る人だと感じていることであろう。この見解は、悪い僕の妄想にすぎない。なぜなら、わたしたちの持っているもので、受けなかったものがあるであろうか。『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』（歴代志上 29:14）というのが、わたしたちの感謝の心の言葉であるべきである。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1888 年 6 月 12 日）

**b.　地上歴史のこの終わりの時代に、キリストのどの訓告が、特別な力をもってあてはまりますか（マタイ 24:12; 黙示録 2:4）。**

「教会員は、各々わたしたちの信仰の敵が、自分たちの命のない背信の状態に対して勝利するすきを与えることがないように、用心して心を配るべきである。ある人々は、小さな自己否定、真剣さ、熱心さがあれば、善のために力を持つことができたはずのときに、自分たちの感化力を無駄にしてきた。この熱心さは、努力や真剣な苦闘なしにはもたらされない。」（教会への証 5 巻 287）

**2.　　求めるべき資質**

**a.　聖書は、神への熱心さの命に関わる重要性について、どのように表現していますか（詩篇 42:1; 84:2）。もしこの資質がわたしたちのうちに欠けているとすれば、それをどのようにして得ることができますか（エレミヤ 29:13）。**

「自分たちのバプテスマの誓いに対して真実であるという確固たる証拠を見せない人が多い。彼らの熱心さは、形式主義と世的な野心、誇り、自己愛によって凍りついている。ときどき、彼らの感情はかきたてられるが、彼らは岩なるキリスト・イエスの上に落ちて砕かれない。彼らは悔い改めと告白のうちに砕かれた心をもって神のみ許へ来ない。心のうちに真の改心の働きを経験する人々は、自分たちの生活に御霊の実をあらわすようになる。」（教会への証 9 巻 155）

「わたしたちの衰えた熱心さと弱った霊性のために、断食とへりくだりと祈りが必要である。」（同上 4 巻 535, 536）

**b.　キリストのようになりたいと切望するすべての人のために、どの約束がありますか（マタイ 5:6）。ヤコブの経験が、なぜわたしたちにとって、それほど価値があるのですか（創世記 32:24–30）。**

「神は敬神、自己否定、自己犠牲、人への同情、そして神への熱心を探し求めておられる。このお方は人のうちに、自分の同胞を不信仰と破滅から救いたいという魂の深い切望を見たいと待ちわびておられる。」（サインズ・オブ・タイムズ 1899 年 2 月 15 日）

「わたしたちには、受ける特権のあった大いなる真理があるのだから、光の生ける媒介となるべきであり、聖霊の力の下に、そうなることができる。そのとき、わたしたちは恵みの座に近づくことができる。そして約束の虹を見て、悔いた心でひざまずき、自ら報いをもたらさずにはいない霊的な激しさをもって、天の王国を求めなさい。わたしたちはヤコブがしたように、それを力づくで奪い取らなければならない。そのとき、わたしたちのメッセージは救いに至る神の力となるのである。」（キリストを映して 217）

「ただひとり密室にはいって『神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください』と神に祈らねばならない（詩篇 51:10）。熱心に、誠実に祈らねばならない。熱烈な祈りには大きな力がある。ヤコブのように祈りのうちに格闘し、苦悶しなければならない。ゲッセマネの園のイエスは血の汗を流された。私たちも努力しなければならない。神からの力を感じるまでは密室を去ってはならない。目をさましていなければならない。目をさまして祈っているかぎり、罪への誘惑を抑える事ができ、また神の恩恵は私たちの内に現われることができる。」（青年への使命 126）

**3. 行動における熱心さ**

**a. 神のための忠実な証人が耐えた苦闘とかち得た勝利から、何を学ぶことができますか（エレミヤ 20:8–11; 使徒行伝 4:14–20）。**

「エレミヤのメッセージに対する反対があまりにも強く、あまりにもしばしば冷笑され、あざけられたために、彼は『主のことは、重ねて言わない、このうえその名によって語る事はしない』と言った（エレミヤ 20:9）。これまでもこのようであった。譴責のうちに語られる神のみ言葉に対して、苦々しさ、憎しみ、反対が表されるので、他の多くの神の使命者たちはエレミヤが決心したように決心した。しかし、この主の預言者は自分が決心した後で、何をしたであろうか。できる限り努力したが、彼は黙っていることができなかった。人々の集会に入るや否や、彼は主の御霊の方が、彼よりも強いことを発見した。」（ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ［Ｅ．Ｇ．ﾎﾜｲﾄｺﾒﾝﾄ］4 巻 1156）

「神とそのみわざに対する熱意が弟子たちを動かし、偉大な力を発揮して福音をあかしさせた。われわれも同じ情熱を心に燃やし、あがないの愛の物語を、キリスト、しかも十字架につけられたキリストの物語を語る決意をすべきではないだろうか。救い主の来臨を待ち望むばかりでなく、これを早めることがすべてのクリスチャンの特権である。」（患難から栄光へ下巻 308）

**b. わたしたちのうちに、どの種類の経験が、こだましなければなりませんか（詩篇 119:137–140; ヨハネ第一 3:1–3）。**

「ラフボロウ長老は、み事業における熱心な働き人であった。彼は働きに専心した。彼は、……働きの新しい領域に入り、喜んでもっともつつましい地位に身をおき、ありとあらゆる欠乏に耐え、倹約し、安く貧しい生活を送り、始まったばかりのみ事業のために早くから遅くまで労した。」（原稿ﾘﾘｰｽ 21 巻 246）

「わたしたちは永遠の世界の瀬戸際に立っている。なぜなら、悪がはびこり、多くの人の愛が冷えているからである。この代わりに、神への愛、純潔、真理、聖潔への愛が、わたしたちの心の中で増し加わっているべきである。わたしたちの周りの悪の増加が、わたしたちのうちにもっと真剣な熱心さと、もっと強い決意を目覚めさせるべきである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1881 年 11 月 29 日）

**4.　　誤って導かれた熱心さを避ける**

**a.　誤って導かれた熱心さを通して、わたしたちが堕落するかもしれない道に、どのようなものがありますか（ローマ 10:1–3; コリント第一 10:23）。**

「御霊と神の力に欠けている人が、新しい伝道地に入ると、人気ある諸教会の矛盾を示すことによって、真理の民を説得できると考えて、他の宗派を非難し始める。ある場合にはこれらのことを語る必要があるかもしれないが、たいていの場合、それはわたしたちの働きに対する偏見を生じさせ、それがなければ真理を聞いたかもしれない多くの人々の耳を閉ざすだけである。もしこれらの教師たちがキリストに近く結びつくならば、どのように民に近づくべきかを知る神聖な知恵を得る。」（教会への証 4 巻 536）

**b.　エヒウの誤った熱心さは、何がいけなかったのですか（列王記下 10:16–19, 28–31）。**

「自分の宗教が活動で成りたっている人々が多くいる。彼らは携わりたいと願い、何か大きな働きをなすことを手柄にするが、その一方で麗しいクリスチャン品性を築くために働く小さな恵みはまったく見過ごしている。忙しく慌ただしい奉仕は、その人が何かすばらしい働きをしているかのような印象を与えるが、神には受け入れられない。それは、『わたしと一緒にきて、わたしが主に熱心なのを見なさい』と言ったエヒウの精神である。それは自己を喜ばせ、自己満足の気持ちを養う。しかし、その間ずっと魂は、征服も支配もされていない利己心という疫病のしみによって汚されているかもしれないのである。」（サインズ・オブ・タイムズ 1884 年 11 月 20 日）

「クリスチャンの熱心さは原則によって支配されるものであり、突発的ではない。それは真剣で、深く、強いもので、魂全体を働かせ、道徳的知覚力を働かせるために目覚めさせる。魂の救いと神の王国の利益が、最高に重要な問題である。……クリスチャンの熱心さは、話だけに尽きてしまうことなく、活力と効力をもって感じ、活動する。しかし、クリスチャンの熱心さは、見られるために活動することはない。へりくだりが、努力の一つ一つに、働きの一つ一つを特徴づけている。クリスチャンの熱心さは、真剣な祈りとへりくだりへと導き、家庭の義務における忠実さへと導く。家庭の輪の中で、優しさと愛、慈善と同情が見られるが、これは変わらないクリスチャンの熱心さの実である。」（教会への証 2 巻 232, 233）

## 木曜日 *4月26日*

**5.　　キリストの模範**

**a.　信心深い熱心さについての詩篇記者の預言は、どのようにキリストのうちに成就しましたか（詩篇 69:9; ヨハネ 2:13–17; 4:34）。キリストの熱心さから、わたしたちはどの要素を学ぶべきですか（コリント第一 2:2–4）。**

「〔キリストは〕律法を生きられた。このお方の純潔と善行、このお方の真理への献身、神の栄光のための熱心さは、律法の完全さを表している。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1901 年 2 月 26 日）

「キリストは御父のみ旨を行うことが、ご自分の肉であり、飲み物であると宣言された。このような真理の聖化を通してもたらされる熱心さは、真理を信じる信徒を力強くする。なぜなら、彼は聖なる真理の保管箱であり、真理にあずかるにつれ、役立つクリスチャンとなるからである。熱心さはいつも変わらず、品性の聖潔を表すべきである。」（原稿ﾘﾘｰｽ 10 巻 131）

**b.　ラオデキヤの生ぬるい時代に生きている一人びとりに対して、キリストはどのような訴えをしておられますか（黙示録 3:19）。**

「神の奉仕ということになった場合、人々は、かつて世の奉仕においてあらわしていたような同じ熱心さを、このお方の働きのためにあらわすであろうか。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 12 日）

「この時代、すなわち、万物の終わりが近づいているときに、教会の熱心さは初期の教会の熱心さを上回るべきではないだろうか。神の栄光のための熱心さは、強力な力をもって真理のための証を担うために、弟子たちを動かした。この熱心さは、キリスト、しかも十字架につけられたキリストの贖いの愛の物語を伝えたいとの切なる願いでわたしたちの心を燃やすべきではないだろうか。神の力が今日、使徒たちの時代よりさらに力強く表されるべきではないだろうか。」（教会への証 7 巻 33）

## 金曜日 *4月27日*

個人的な復習問題

**1.　タラントの譬から、わたしたちはどの警告に注意を払うべきですか。**
**2.　ヤコブの経験のどの面が、わたしたちのものとなるべきですか。それはなぜですか。**
**3.　エレミヤ、ダビデ、また初期の使徒たちから、どのように学ぶことができますか。**
**4.　どのように、わたしたちは誤り導かれた熱心さの症状を表しているかもしれませんか。**
**5.　本物の熱心さの特徴は何ですか。**

## 第一安息日献金
## 世界のミッションのために

天に戻られる前に、キリストはご自分の弟子たちに福音の任務を託されました。「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」（マタイ 28:19, 20）。

この地球に教会が存在している主たる理由は、福音のメッセージをその住民に伝えることです。キリストは次のように言われました。「そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである」（マタイ 24:14）。

神の残りの教会のすべてのメンバーは、個人的な伝道努力、祈り、また資金的な貢献を通して、世界中に永遠の福音を広めるための助け手となるべき特権と義務を有しています。

毎年、わたしたちは世界中の教会員や友人たちから、この地球の多くの地域におけるミッションを通してメッセージを広めるために必要な資金を供給するための特別献金を集めています。

「キリストは伝道者として出て行くすべての人の模範であられる。このお方の働きは、すべての伝道努力のための見本である。それは、無条件の降伏と、時間とタラントを捧げることを要求する。それは、神がわたしたちにゆだねられた財産を、取引で得た利子と共に神に戻すことを要求する。キリストがなすためにこの世に来られた働きを前進させるための事業に、すべてがつぎ込まれるべきである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1901 年 12 月 24 日）

全世界の前で、このお方の愛のご品性を表す地上の神の大使館の一部となることがわたしたちの特権です。わたしたちの時間、力、特別な努力、そしてわたしたちの金銭的な資源は、神の愛の福音を広めるための神の賜物です。

わたしたちの世界ミッションを助けるために、みなさんはご自分の資源から惜しみなく捧げてくださるでしょうか。わたしたちが天の神の王国に救われた魂を見るときに、この現世と来世における皆さんの生涯において、神の祝福が実現することは確実です。

*世界ミッションのために、世界総会の皆さんの兄弟より*

# 精力と効果

**「行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。」（マタイ 10:7）**

「時は短いのだから、わたしたちは勤勉さと二倍の精力をもって働くべきである。」（教会への証 3 巻 159）

推奨文献：　キリストの実物教訓 317–322

## 日曜日　*4 月 29 日*

**1.　　すべての人のためのタラント**

**a.　わたしたちが生存しているこの性急な時代にあってさえ、神はあわれみ深くも、何をそなえてくださっていますか。また、それはなぜですか（伝道の書 3:1）。**

「わたしたちの時は、神に属するものである。一瞬、一瞬が神のものである。そして、わたしたちには、その時を神の栄光のために活用するように、きわめて厳粛な責任が負わせられている。神がお与えになったたまもののなかで、わたしたちの時間ほどに厳密な説明が求められるものは他にないのである。……

「永遠のために備えをすべき恵みの日は、ほんのわずかしかない。浪費したり、自己の快楽のために用いたり、罪にふけったりする時間はない。将来の永遠の命のために品性を形成するのは、今である。厳密な審判の時の備えをするのは、今である。」（キリストの実物教訓 317, 318）

**b.　わたしたちが時間の用い方を計画するとき、どのような要素を考慮すべきですか（ヤコブ 4:13–15）。**

「時の短さは、現代の真理を信じると主張している人々の間で目覚めたことのない精力を要求している。」（健康についての勧告 506）

「もしすべての人が、自分の時間を最高の方法で用いるならば、かなり多くの財源が、真理のみ事業のために蓄えられる。働きに心を込めるとき、それは熱心さと精力と敏速さをもってなされる。」（教会への証 4 巻 451）

**2.　敵の策略に対して賢くなる**

**a.　神のみ働きを前進させるために努力するとき、わたしたちは何を悟らなければなりませんか（ペテロ第一 5:8; 黙示録 12:12）。**

「わたしたちは一刻の猶予もならない。闇の力が集中的な精力をもって働いており、サタンはおおかみが獲物を奪うように、いま眠っている人々を奪おうと忍び足で進み寄っている。わたしたちは今与えることのできる警告をもっており、今なすことのできる働きがある。しかし、まもなく想像以上にそれが難しくなる。」（伝道 218）

「ああ、わたしたちはすべての魂に対して、勝ち取るべき天国があり、避けるべき地獄があることを、おそるべきほど真剣に強調しなければならない。魂のすべての勢力は、自分たちの道を強化し、力づくで王国をつかむために目覚めさせられねばならない。サタンは活発であるから、わたしたちも活発でなければならない。サタンは倦むことなく、辛抱強いので、わたしたちも同様でなければならない。自分たちの背信のために、言い訳をしたり、人を責めたりしている場合ではない。もし状況がほんの少しでも恵まれていたならば、わたしたちが神のみ働きをなすのに、どれほど良かったことであろう、たやすかったことだろうと都合よく魂に思いこませている場合ではない。わたしたちはキリストを信じると公言している人々に対してでさえ、罪深い言い訳によって神に対して罪を犯すのをやめなければならないと告げなければならない。」（原稿リリース 12 巻 336）

**b.　わたしたちの前にある苦闘について、霊感は何を教えていますか（エペソ 6:12; マタイ 24:13）。**

「時の短さを考えるとき、わたしたちは民として見張り、祈るべきであり、どのようななことがあっても、わたしたちの前にある大いなる出来事のための準備という厳粛な働きからそらされてはならない。一見、時が延ばされているからといって、多くの人々は、自分たちの言葉や行動に関して、不注意かつ無関心になっている。彼らは自分たちの危険を自覚せず、将来の不死の命のために品性を築く時間を得ることができるように、彼らの恩恵期間を長くされたわたしたちの神の憐れみを認めてもいなければ、理解もしていない。一瞬一瞬に最高の価値がある。時が彼らに与えられているのは、自分自身の安逸を研究したり、地上の住民になったりするのに用いるためではなく、自分自身の品性にある一つ一つの欠点に打ち勝つ働きに用いるため、また模範と個人的な努力によって、他の人々が聖潔の美しさを見るのを助けるためである。」（教会への証 4 巻 306, 307）

「時の終わりに至るまで、熱心さと精力を集中させて、わたしたちは主の働きを進めるべきである。」（両親、教師そして生徒への勧告 548）

### 3. 役立てられた資源

**a. わたしたちの主人が、わたしたちにゆだねられたさまざまなタラントについて、理解させたいと望んでおられるのは、どのような点ですか（ルカ 19:13）。**

「個人個人だれでも自分の財産がどれほど大きかろうと小さかろうと、あずかっているものにすぎないことを覚えていなさい。自分の力、技能、時間、タラント、機会、そして資金のために、人は神への会計報告を提出しなければならない。これは個々人の働きである。神はわたしたちに与えて下さるが、それはわたしたちが他の人々に与えることによって、ご自分のように寛容で気高く、慈善に富んだ者となるためである。自分の神聖な使命を忘れて、誇りと利己心にふけるために蓄え、費やすことしか求めない人々は、この世の利益や楽しみを得ることはできるかもしれない。しかし、神の御目には、彼らの霊的な到達度によって量ると、貧しい者、みじめな者、あわれむべき者、目の見えない者、裸な者なのである。」（管理職への勧告 22）

「わたしは、キリストの生涯において、このお方が遊びや娯楽にご自分の時間を費やされた例を見出すことができない。このお方は現在と未来の生涯のための偉大な教育者であられる。しかし、わたしは身体的な運動をするために、ご自分の弟子たちに娯楽に携わるようにとお教えになった例を一つも見出すことができない。世の贖い主は、一人びとりにその人の働きをお与えになり、彼に命じられる、『わたしが帰って来るまで、これで商売をしなさい』（ルカ 19:13）。こうすることによって、心は事業に熱が入る。存在の力がことごとく、従うための努力に用いられるべきである。わたしたちには、高く聖なる召しがある。」（両親、教師そして生徒への勧告 309）

**b. ソロモンの経験から、わたしたちは何を学ぶべきですか（伝道の書 2:10, 11）。**

「注意をひく、多くの話題を避けなければならない。時間をとり、せんさく心を起させ、しかもその結果のむなしい問題が世の中には多く、比較的つまらぬことに細心の注意と努力を払うことがよくあるが、それは最高の問題に対して払うべきものである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 438）

「あなたが有用性と義務のために、また魂の救いのために心を用いていることが人々にわかるようにしなさい。時間を消費し、自己に栄光を帰すだけの娯楽は、わりにあわない。」（医事伝道 82）

「いま安っぽく朽ちるものに費やされている精力は、世を啓発するための働きに用いられるべきである。神が与えてくださったすべての精力が、現世と永遠のための祝福された満足を伴っている働きに用いられるようにしなさい。」（原稿ﾘﾘｰｽ 6 巻 267）

**4.　　買われた財産**

**a.　なぜ愚かな金持ちの態度が、わたしたちにとって警告なのですか（ルカ 12:16–21）。**

「神の民だと公言する人々の側で、悲しむべき神に対する出し惜しみがある。キリストに捧げられるべき資金と努力が、自己を喜ばせるために捧げられている。神は時間、金銭、奉仕を盗まれている。自己愛、自己満足が、魂からイエスの愛を締めだしており、これが教会にもっと大きな熱心さと、わたしたちを初めに愛してくださったお方へのもっと熱い愛がない理由である。」（サインズ・オブ・タイムズ 1890 年 12 月 22 日）

「人々はあたかも理性を失ってしまったかのように行動する。彼らはこの世の生活のわずらいに埋没している。彼らには神に献身する時間も、このお方にお仕えする時間もない。仕事、仕事、仕事というのが、一日の順番である。彼らには、ただ無理な計画に基づいて働くこと、大きな農場を運営することが要求される。自分たちの財産をしまっておくために、壊しては、もっと大きなものを建てるというのが彼らの野心である。しかし、まさに自分たちの富のために腐心している人々は、キリストに従う人々として、まかり通っている。彼らは名目的には、キリストがまもなく来られること、万物の終わりが間近であることを信じている。しかしなお、彼らには犠牲の精神がない。彼らはますます深く世に沈みつつある。彼らは命の言葉の研究や瞑想、祈りのために、自らほとんど時間を取ることを許さない。また、家族の他のものにも、あるいは彼らに仕える人々にも、この特権を与えない。しかしなお、これらの人々はこの世は自分たちの住まいではなく、地上では単によりよい国へ移るための準備をしている旅人であり、寄留者にすぎないことを信じると公言する。すべてこのような人々の実例と感化力は、神のみ事業にとってのろいである。むなしい偽善がクリスチャンだと公言する彼らの生活を特徴づけている。彼らは、自分たちのわざが示す分だけ、神と真理を愛しているのであり、それ以上ではない。人は自分の持っている信仰を行動で示すだけである。」（教会への証 2 巻 662, 663）

**b.　わたしたちの思いにおいて、いつも何が一番先にくるべきですか（コリント第一 3:23; 6:20）。**

「わたしたちが神に捧げても捧げなくても、思いと魂と力はみな神に属している。神は人類一人びとりに、次のように語りかけておられる。『わたしはあなたに対して要求するものがある。あなたの熱心さ、能力、精力、資金をわたしに与えなさい』。このお方には、これを求める権利がある。なぜなら、わたしたちはこのお方の無限の愛によって、またカルバリーの十字架の苦しみによって、罪の奉仕から贖われた、このお方のものだからである。」（サインズ・オブ・タイムズ 1901 年 1 月 2 日）

## 木曜日 *5月3日*

**5.　　後の雨のために準備する**

**a.　各々、何を自覚することによって、行動を起こすべきですか（コリント第二 6:2; マタイ 10:7）。**

「わたしたちは、キリストのみ事業において、はるかに大きな真剣さを必要としている。真理の厳粛なメッセージを非常な熱心さで伝え、それによって、神がわたしたちの努力と共に働いておられること、またわたしたちの生ける力の源はいと高き者であられることが不信者に印象づけられるべきである。……

この無関心が年々続くのであろうか。サタンがいつも勝利し、キリストはいつもご自分が無限の代価をもって贖われた僕たちに失望なさるのであろうか。わたしたちは後の雨が注がれる時を待ち、教会が上よりの力を授けられ、それによって神のためのもっと効果ある働きにふさわしいものとされる、より良き日を望んでいる。しかし、後の雨は、神からすでに与えられている力を用いていない怠惰な魂を回復させ、活気づけるために与えられることは決してない。霊的な怠惰によって、神により近づくことはない。わたしたちのすべてのわざに織り込まれた献身と個人的な敬神と同様、活力と熱心さがなくてはならない。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1886 年 12 月 9 日）

**b.　今日、わたしたちのための神のご要求は何ですか（イザヤ 60:1, 2; マタイ 5:14–16）。**

「働いている教会は、生きている教会である。教会員は、光が輝き出るままにしなさい。あなたの声がへりくだった祈りのうちに、この世の不節制、愚行、娯楽に反対する証のうちに、またこの時代のための真理の宣布のうちに聞かれるようにしなさい。あなたの声、あなたの感化力、あなたの時間―これらはみな、神からの賜物であり、キリストに魂を勝ち取るために用いられるべきである。あなたの隣人を訪ね、彼らの魂の救いへの関心を示しなさい。すべての霊的な精力が活動に目覚めるようにしなさい。訪問した人々に、万物の終わりが近づいていることを告げなさい。」（医事伝道 332）

## 金曜日 *5月4日*

個人的な復習問題

**1.　なぜ時はそれほど価値があるのですか。**
**2.　どのような一般的なわなが、キリストのために働くことを妨げますか。**
**3.　どのような傾向が、わたしたちをラオデキヤ状態に沈滞させる可能性がありますか。**
**4.　何がキリストのために労する動機を与えるべきですか。**
**5.　なぜ多くの人々は後の雨を受け損じるのですか。**

# 金銭

**「銀はわたしのもの、金もわたしのものであると、万軍の主は言われる。」（ハガイ 2:8）**

「わたしたちは資金のあらゆる出費において、すべてのクリスチャンの努力のアルパでありオメガであるお方のご目的を果たすよう奮闘すべきである。」（教会への証 9 巻 49）

推奨文献：教会への証 5 巻 148–157
同上 2 巻 99, 652–662

## 日曜日　*5月6日*

**1.　　表された心**

**a.　金銭の用い方は、どのようにわたしたちの神への献身の深さを表わしますか（マタイ 6:21）。**

「わたしたちが、深い熱心さをもつべきことが一つあるが、それは神の奉仕である。ここで熱心すぎるという危険はない。もしわたしたちがただ神の栄光だけに目を留めて働きさえすれば、霧は晴れて、善悪についてのわたしたちの視力ははっきりするようになる。わたしたちは自分たちの財産を捧げるべきである。心の言葉は次のようになる、『主よ、ここにあなたがわたしに責任をお与えになった資金があります。これをもってわたしに何をおさせになりたいのですか』。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1886 年 1 月 7 日）

「金銭は神からの委託物である。誇や野心を満足させるために金銭を費す権利はない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 264）

**b.　ダビデの神への献身は、わたしたちの多くの者にとって、どのように刺激ともなり、譴責ともなりますか（歴代志上 29:3–5）。**

「感謝は心のうちに死んでしまったのであろうか。キリストの十字架は、利己的な安逸と放縦の生活を、恥させないのであろうか。……わたしたちはこの無限の自己犠牲の実を刈り取っている。それでいながら、働きがなされねばならず、魂の救いにおいて贖い主の働きを助けるためにわたしたちの金銭が求められると、義務にしり込みし、免除されるように祈るのである。」（管理職への勧告 21）

**2.　　警告の言葉**

**a.　わたしたちはどのように安息日遵守者に対する邪悪な策略について、警告されていますか（ルカ 21:34）。**

「サタンは、彼の天使たちに、諸教会は眠っていると言った。サタンは、彼の力と偽りの奇跡を大いに行って、彼らを捕らえておくことができるのである。彼は言った。『しかし、われわれは、安息日を守る一派を憎む。彼らは常に、われわれに反抗し、われわれの民を奪って行って、憎むべき神の戒めを守らせる。行って、土地や金銭を持っている人々をこの世の思い煩いで夢中にさせよ。もし彼らの思いを土地や金銭に執着させることができれば、われわれは、まだ彼らを捕らえることができる。彼らには言いたいことを言わせておけばよい。ただ、キリストの王国が勝利を収め、われわれの憎む真理が拡がることよりも、もっと金銭を愛するようにさせよ。彼らの前に、この世を最も魅力的に見せて、彼らがそれを愛し、偶像化するようにさせよ。われわれは、われわれが管理できるだけの財産を、みなわれわれの陣営の中に保っておかなければならない。キリストの弟子たちが、神の奉仕のために財産をささげればささげるほど、彼らはわれわれの民を奪って、われわれの王国に損害を与える。……できれば、金銭の関係点を手中に収めて、牧師たちを欠乏と苦難に陥れよ。そうすれば、彼らの勇気と熱心が衰えるだろう。どんな小さい領土でも戦い取れ。貪欲と地上の宝に対する愛を、彼らの品性の主な特質とせよ。このような性質が優勢である限り、救いと恵みは、あとにひきさがっている。彼らの回りにあらゆる誘惑を設けよ。そうすれば、彼らは間違いなく、われわれのものである。そして、ただ彼らを手に入れるだけでなく、彼らの憎むべき感化によって他の人々が天国に導かれることもなくなるのである。もしだれかが、ささげようとするならば、わずかしかささげないように、物惜しみする気持ちを起こさせよ』」。（初代文集 432, 433）

**b.　わたしたちはなぜ、特に貪欲に対して警告されているのですか（ルカ 12:15）。**

「人間の心に潜在している利己心と貪欲は、もっとも強力な情欲であり、戦いの結果は、単なる憶測ではない。魂が日ごとにキリストの肉を食して生き、このお方の血を飲んでいないかぎり、信心深い要素は、悪魔的な要素に打ち負かされてしまう。利己心と貪欲が勝利を得るようになる。自己満足と独立の精神は、決して神の王国に入ることはない。キリストと共にその栄光にあずかるようになるのは、キリストと共にその自己否定と犠牲にあずかる人々だけである。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 2 巻 216）

**3. 深刻な問題**

**a. 金銭への愛着は、どのようにわたしたちの霊的な命を退化させますか。そしてその治療法は何ですか（テモテ第一 6:9, 10）。**

「キリストはご自身を捧げ、無限の犠牲を払われた。これが、それ自体、真っ向から貪欲に反し、慈善を高める。

「継続的な自己否定の慈善は、利己心と貪欲という蔓延する罪に対する神の治療法である。神はご自分のみ事業を支え、苦しむ人や困窮している人々の必要を救援するために、組織だった慈善を取り決められた。このお方は与えることが習慣となるべきことを定め、こうして危険な欺きの罪である貪欲を阻止できるようになさった。絶えず与えることは、貪欲を飢え死にさせる。組織だった慈善は、貪欲な人が宝を得たときと同じくらいすみやかにそれらを引き離し、そして主に、すなわち、それらの宝の属しているお方にお捧げするように神の取り決めのうちに計画されている。」（教会への証 3 巻 548）

「自己犠牲は、キリストの教えの基調である。しばしばそれは命令的に思える言葉で提示され、課されている。なぜなら、神は人を救うためには、持ち続けていれば存在全体を低下させることになる利己心を、人の命から切除するしかないことをご覧になるからである。」（同上 9 巻 49）

「神の民の活力を蝕（むしば）んでいるのは、金銭と、世を友とする交友の愛着である。」（同上 2 巻 657）

**b. 神はわたしたちの注意の焦点を、どこにあわせたいと思っておられますか。また、それはなぜですか（コロサイ 3:1）。**

「利己心は魂を破滅させる罪である。これを先頭にして、偶像礼拝である貪欲が続く。万物は神に属している。わたしたちが享受している繁栄は神聖な慈善の結果である。神は偉大にして物惜しみしない与え主であられる。もしこのお方がわたしたちに与えて下さった豊富な供給の一部を要求なさるとしたら、それはご自分がわたしたちの捧げ物によって豊かになるためではない。なぜなら、このお方はわたしたちの手からは何も必要としておられないからである。そうではなく、それはわたしたちが同胞のために自己否定、愛、同情を働かせ、それによって非常に高められる機会を得るためである。アダムの時からわたしたちの時まで、すべての時代において、神は人間の財産権を主張して次のように言われる。わたしは宇宙の正当な所有者である。であるから、あなたの初なりをわたしに捧げなさい。忠誠の捧げ物を持って、わたしの許へわたし自身のものを捧げ、わたしの統治権を認めなさい。それから、自由にわたしの賜物を持ち、楽しみなさい。そうすれば、わたしの祝福はあなたと共にあるであろう。」（同上 4 巻 476, 477）

**4. 犠牲による契約**

**a. 主の再臨前の時間が短いことを考えるとき、各々、自分の個人的な資金を管理する際に何を考慮すべきですか（ハガイ 2:8）。**

「終わりは急速に近づいているが、わたしたちの教会の多くの人々が眠っている。すべての人は、主に仕えることを自分の主要な仕事としなさい。主はご自分の民に資金というタラントを、ある者は多く、ある者は他の人より少なく委ねてこられた。多くの人々にとって、富の所有がわなとなってきた。世の流行に従いたいという願いのうちに、彼らは真理を求める熱心さを失ってしまった。そして彼らは永遠の命を失う危険のうちにある。神が彼らを繁栄させられたのに比例して、人は自分たちの管理に委ねられた財産から、このお方に戻すべきである。」（この日を神と共に 349）

「ある人々は、伝道者を外国に送ったり、真理を出版して秋の木の葉のように世界中にまくために用いられる金銭のための訴えに耳を閉ざす。そのような人は、あなたに死ぬときに惜しみなく施す取り決めをしたからと伝えることによって、自分たちの貪欲を言い訳する。彼らは自分たちの遺言書の中で神のみ事業を考慮した。であるから、彼らは什一や献金において神から盗み、強欲な生涯を送りながら、遺言書の中で神にお返しするのであるが、神が彼らに貸し与えられたものからわずかな部分だけであり、その一方、大部分は真理に関心のない親戚に割り当てられるのである。」（教会への証 4 巻 479, 480）

**b. 管理職に関するどのようなはっきりとした警告を、キリストは親に公表なさいましたか（マタイ 10:37）。**

「信じる親はしばしば自分たちの財産を、不信仰の子供たちに委譲してしまい、それによって神のものを神にお捧げする自分たちの力の及ばないところへおいてしまう。こうすることによって、彼らは神が課された責任をふりはらい、神が彼らに委ねられた財産を敵軍の中に置くのである。この財産は、神が彼らに要求なさるときにみ事業に投資することによって、このお方にお返しするために、彼らに委ねられたのである。自分自身のことを管理できる親が、自分たちの財産の管理をやめて譲り渡すことは、同じ信仰の子供たちに対してでさえも、神の秩序ではない。」（同上 1 巻 528, 529）

## 木曜日 *5月10日*

**5.　　最も安全な貯金箱**

**a.　犠牲を通してご自分と契約を結ぶすべての人に、キリストはどのような慰めの保証を提供なさいますか（マタイ 6:28–33）。**

「心を開いてこの国を受け入れ、そのために尽くすことを第一のこととしなさい。これは霊の国ではあるが、この世の生活の必要がかえりみられないのではないかと恐れるには及ばない。あなたがたがみずから神の奉仕にささげるなら、天でも地でもすべての権力を持っておられるかたがあなたがたの必要を満たしてくださるのである。」（祝福の山 122）

「他の人々の善のための自己犠牲の行為一つ一つは、与える人の心のうちに慈愛の精神を強め、その人を世の贖い主ともっと近く結びつけるのである。」（管理職への勧告 20）

**b.　わたしたちの富を保管するのに、もっとも実り多い方法は何ですか（箴言 3:9, 10）。**

「あなたは自分の財産を安全に守りたいであろうか。それを十字架の釘あとを帯びたみ手におきなさい。あなたのすべての財産をとっておくなら、それはあなたの永遠の損失となるであろう。それを神に渡しなさい。そうすれば、その瞬間からそれは神の銘を帯びるのである。それはこのお方の不朽によって印される。」（同上 49）

「わたしたちは天の利益に投資し、いつも天を視野に入れて働き、自分たちの宝を天の銀行に蓄えるべきである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1895 年 4 月 4 日）

## 金曜日 *5月11日*

**個人的な復習問題**

**1.　なぜ金銭は、わたしたちの心について多くをあらわすタラントとなり得るのですか。**
**2.　サタンが安息日遵守者に対してもくろむ策略の一つを描写しなさい。**
**3.　わたしたちは金銭への愛着を克服することによって、どのように祝福されますか。**
**4.　時の終りが近づきつつあるとき、何を考慮すべきですか。**
**5.　自分たちの宝を天に蓄える人々に、どの約束が与えられていますか。**

# 什一

**「十番目に通るものは、主に聖なる物である。」（レビ記 27:32）**

「什一は神聖なものであり、神がご自身のためにとりおかれたものである。」（管理職への勧告 93）

推奨文献： 福音宣伝者 222–228

## 日曜日　*5 月 13 日*

**1.　　創世記の時代より**

**a.　どのような方法によって、神はエデンの園の一部をご自身のためにとりおかれましたか（創世記 2:16, 17）。これは、どのように什一と対比することができますか（マラキ 3:7, 8）。**

「主はエデンの中に、目に美しく食べるに良いすべての木を創造された。そして、アダムとエバはこのお方の豊かさを自由に楽しんだ。しかし、このお方は一本の例外を設けられた。善悪の知識の木からは、彼らはとって食べてはならなかった。神が万物の所有者であることを絶えず思い起こさせるものとして、神はこの木を取りおかれた。こうして、このお方はご自分の要求への完全な従順によって、ご自分を信じる信仰と信頼を示す機会を彼らにお与えになった。

わたしたちに対する神のご要求も同様である。このお方は人の手の中に、ご自分の宝をおかれるが、十分の一は忠実にご自分のみ働きのためにとりおくようにと要求なさる。このお方はご自分の金庫にこの割合が捧げられるよう要求なさる。それは神ご自身のものとして、このお方に捧げられるべきである。それは聖なるものであり、聖なる目的、すなわち世界中の至る所に救いのメッセージを伝える人々を支えるために用いられるべきである。」（教会への証 6 巻 386）

**b.　自分たちの収入の十分の一について、何が初期の父祖たちの習慣でしたか（創世記 14:18–20; 28:20–22）。**

「十分の一制度は、ヘブル人が創設したものではなかった。主は、初期のころから、十分の一をご自分のものとして主張され、それは、人々が認めて尊んだことであった。」（人類のあけぼの下巻 159）

**2.　　ヘブル人の制度において**

**a.　什一に関して、初期のヘブル国家に、どのような特別な指示が与えられましたか（レビ記 27:30, 32）。すべての時代において、この原則はどのように強調されていますか（マラキ 3:10）。**

「ヘブル人の制度では、人々の収入の十分の一は、神を公に礼拝することを支持するために、聖別されていた。……

「イスラエルの国が建設されたときに、十分の一の律法は、神のお定めになった定めの一つとして再確認された。彼らの繁栄は、これに従うか否かにかかっていた。……

「『十分の一は‥‥主のものである』る（レビ記 27:30）。ここに、安息日の律法に用いられたのと同じ表現形式が用いられている。

『七日目はあなたの神、主の安息である』（出エジプト記 20:10）。神は、人間の時間と財産の一定の部分をご自分のものとして保留なさった。そこで、人間は、そのどちらであっても私用に供すれば、罪を犯すことになるのである。」（人類のあけぼの下巻 159, 160〔筆者強調〕）

**b.　什一がとりおかれる前に、何が要求されましたか（出エジプト記 34:26 上句；歴代志下 31:5, 6）。**

「十分の一の保留以前でさえ、神の要求を認めなければならなかった。地のすべての産物の最初に実ったものは、神にささげられた。羊の毛を刈ったときや、麦を脱穀したときの最初のもの、油や酒の最初のものは、神のものとされた。それと同様にすべての動物のういごは、神のものであった。また、長子のためには、贖いの価を払ったのである。最初の実は、聖所で主の前にささげられ、それから、それは祭司たちの用に供された。

こうして、人々は常に神が彼らの畑や羊の群れや家畜などの真の所有者であって、神が、彼らの種まきや収穫のときに日光と雨をお与えになったこと、また、彼らの所有のすべては、神がお造りになったものであって、神が、彼らを神の財産の管理人になさったことを思い起こさせられた。

イスラエルの人々が、畑や果樹園やぶどう畑の初物をたくさん携えて、幕屋に集まったとき、彼らは、人々の前で神の恵みをたたえたのである。」（人類のあけぼの下巻 161）

**3. 時代を超越した原則**

**a. ネヘミヤの時代になされた改革のうちには、何が含まれていましたか（ネヘミヤ 10:37; 12:44）。**

**b. パリサイ人のどの習慣が、キリストの承認を受けましたか（マタイ 23:23）。なぜ、什一の原則は、新約時代にも当てはまるのですか（ヘブル 7:1–5, 8, 20, 21）。**

「新約は、安息日の律法も制定し直すことはないように、什一の律法を制定しなおすことはない。なぜなら、両方ともその価値を担い、それらの深い霊的な重要性が説明されているからである。

神はわたしたちの時間と財産の特定された一部を無条件に取りおかれた。これらのご要求を無視することは、神から盗むことである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1882年5月16日）

「什一は神に捧げられるべきである。このお方のご要求が第一にくる。わたしたちは、自分たちの必要がすべてに満たされた後の残りをこのお方に捧げるのでは、このお方のみ旨を行っているのではない。わたしたちの収入を少しでも消費する前に、わたしたちはこのお方がご自分のものだと主張しておられる分を取り分けて、お捧げすべきである。これがなされたとき、残りは聖化され、わたしたち自身が使うために祝福される。しかし、このお方がご自分のものだと言われるものを差し控えるとき、のろいが全体に及び、わたしたちは天の書に盗みの罪があるものとして記録される。神は人に十分の九をお与えになったが、十分の一は聖なる目的のため、ご自分のものだと主張なさる。それはこのお方が人に六日を自分自身の働きのために与え、七日目をご自身のために取っておかれたのと同様である。」（ﾊﾟｼﾌｨｯｸ・ﾕﾆｵﾝ・ﾚｺｰﾀﾞｰ 1901年10月10日）

「わたしたちは神がご自身のために取りおかれた時間を忠実にお捧げすることを求めるのであれば、このお方がご自分のものだと主張なさるわたしたちの財産の一部もお捧げしないであろうか。……

わたしたちのすべての収入の什一は主のものである。このお方はそれを宗教的な目的に用いるためにご自身に取っておかれた。それは聖なるものである。これ以下のものは、どの時代においても神はお受入れにならなかった。この義務をなおざりにしたり、遅らせたりすれば、神のご不興を引き起こす。もしクリスチャンだと公言するすべての人が、忠実に自分の什一を神の許へ携えてくるならば、このお方の金庫は満ちるはずである。」（管理者への勧告 66, 67）

**4. わたしたちのための警告**

**a. 什一の原則は、どのように第八条に関わっていますか（出エジプト記 20:15; マラキ 3:7–9）。**

「神はすべての人の財産の上に手をおかれて次のように言われる。わたしは宇宙の所有者であり、これらの財産はわたしのものである。あなたが差し控えてきた什一は、闇の地方にいる人々やわたしの律法を理解しない人々に聖書を開く働きをしているわたしの僕たちを支えるために、わたしが取っておいたものである。わたしの取っておいた基金を用いてあなた自身の願いを満足させることによって、あなたは魂が受けられるようにとわたしが備えた光を彼らから奪ってきた。あなたはわたしへの忠誠を示す機会があったが、これをしてこなかった。あなたはわたしから盗んだ。あなたはわたしの取っておいた基金を盗んだ。『あなたがたは、のろいをもって、のろわれる』（マラキ 3:9）。」（教会への証 6 巻 387）

**b. わたしたちは什一について、何を決して忘れてはなりませんか（コリント第一 9:13, 14）。**

「什一は特別な目的のために取りおかれている。それは貧困のための基金だとみなされてはならない。それは特別に世界に神のメッセージを担っている人々を支えるために用いられるべきであり、この目的からそれてはならない。」（管理職への勧告 103）

「だれも自分の什一を取っておき、自由に自分自身の判断に基づいて用いて良いと感じてはならない。彼らはそれを自分たちの緊急時に使ったり、自分たちがふさわしいと思うこと、すなわち自分たちが主のみ働きだと考えていることにあてたりしてはならない。」（福音宣伝者 225）

「わたしたちの民のために、非常に率直ではっきりとしたメッセージがわたしに与えられてきた。わたしは彼らに、什一をさまざまな目的、すなわちそれ自体は良いことであっても、主が什一を用いるべきだと言われた目的ではないことに、あてることによって間違いを犯していると告げるように命じられている。什一をこのように使用する人々は、主の取り決めから離れて行っている。神はこれらのことのために裁かれることになる。

ある人は、学校の目的のために、什一を用いることができると判断する。また他の人々は、文書の販売伝道や配布伝道に携わる人々は什一で支えられるべきだと判断する。しかし、什一がその用いられるべき目的―牧師を支えること―から引き離されるとき、大変な間違いを犯す。伝道地には、良い資質を備えた働き人が今一人しかいないところに、今日百人入るべきである。」（同上 226）

## 木曜日 *5月17日*

**5.　　わたしたちの金銭的な第一優先事項**

**a.　霊的、また現世の繁栄にとって、何が鍵となりますか（マタイ 6:33）。**

「主は、什一がご自身のものであると主張なさるばかりでなく、ご自分のためにどのように取っておくべきかをわたしたちに教えて下さる。このお方は、『あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ』と言われる（箴言 3:9）。これはたとえ、それが正直な什一であったとしても、わたしたちに自分の財産を自分のために使ってから、残りを主のところへ持って来るようにとは教えていない。神の分を最初に取り分けなさい。使徒パウロを通して聖霊によって与えられた捧げ物に関する指示は、什一にも適用すべき原則を示している。『一週の初めの日ごとに、あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえておき……なさい。』（コリント第一 16:2）。ここに親も子供も含まれている。裕福な者だけでなく、貧しい者にも語られている。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1896 年 11 月 10 日〔筆者強調〕）

**b.　神はご自分のものについて、わたしたちに何を宣言しておられますか（マラキ 3:10）。**

「主の民は忠実に什一を払いなさい。そしてまた親から子供まで、しばしば自己満足のために使っていた金銭を主のために取りおきなさい。主はわたしたちをご自分の管理者となさった。このお方は忠実な分配のためにご自分の資金をわたしたちの手中におかれた。このお方はわたしたちにご自身のものをみ許に捧げるように求められる。このお方は世界の至る所に福音を伝えるために用いるために、ご自分の分として什一を取りおかれた。わたしの兄弟姉妹がた、あなたがたの利己心を告白して、これを捨て、主に送りものと捧げ物を携えてきなさい。このお方にまたあなたが差し出していなかった什一を携えてきなさい。あなたの怠慢を告白しに来なさい。主があなたを招いておられるとおりに、このお方を試してみなさい。」（同上 1905 年 11 月 23 日）

## 金曜日 *5月18日*

個人的な復習問題

1. **エデンのときから、どの実物教訓が、什一の原則を説明していますか。**
2. **神の倉に自分たちの什一を戻す前に、ヘブル人はどのように神のご要求を認めるべきでしたか。**
3. **なぜ、什一の制度は、新約時代にもあてはまるのですか。**
4. **もしすべてのクリスチャンが忠実に什一を払えば、何が起こるはずですか。**
5. **どのように、忠実な什一の献金はすべての人を益しますか。**

# 諸献金

**「わたしに賜わったもろもろの恵みについて、どうして主に報いることができようか。」（詩篇 116:12）**

「わたしたちの自己犠牲の慈善、自発的な献金は、真理がわたしたちの心にその働きをしてきている証拠となるのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1904 年 7 月 14 日）

推奨文献：教会への証 3 巻 390–399;
同上 4 巻 462–476

## 日曜日　*5 月 20 日*

**1.　初穂**

**a.　神の民の歴史において当初、彼らにどのような宣言がなされましたか（出エジプト記 22:29）。**

「神は万物の上に、人にも人の財産にも、ご自分のみ手をおいておられる。なぜなら、すべてはこのお方に属するからである。このお方は次のように言われる。わたしは世界の所有者である。宇宙はわたしのものである。そしてわたしの祝福を通して、わたしがあなたの手にもたらしたすべてのものの初穂を、わたしの奉仕のために捧げることをあなたに要求する。神のみ言葉は次のように宣言している。『あなたの豊かな穀物……の初穂をさげるに、ためらってはならない』（出エジプト記 22:29 英語訳）。『あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ』（箴言 3:9）。このお方はこの感謝の捧げ物を、わたしたちのご自分への忠誠のしるしとしてお命じになる。」（管理職への勧告 72）

**b.　ネヘミヤの改革において、今日わたしたちの間でも必要とされているどの習慣が回復されましたか（ネヘミヤ 10:34–37）。**

「主は、什一の他に、わたしたちのすべての収入の初穂を命じておられる。地上におけるご自分の働きが十分に維持されるために、主はこれを取りおかれた。主の僕は、細々とした供給に制限されるべきではない。」（教会への証 6 巻 384）

**2.　感謝の供え物、自発的な供え物、また慰祭の供え物**

**a.　聖書は、捧げることについて、わたしたちに何を教えていますか（詩篇 50:14; 116:12）。**

「ヤコブは神に感謝をいいあらわす必要を感じた。そして特別に神の恵みのしるしが与えられたならば、神に返礼すべきであると思った。それと同様に、われわれも、与えられるあらゆる祝福に対して、すべてのあわれみの源泉であられる神に感謝をあらわさなければならない。……

われわれの時間、才能、財産などは、これらの祝福をわれわれに委託された神にささげるべきである。われわれが特別に危険から救出されるとか、または、新しい予期しない恵みにあずかる場合には、言葉で感謝を表現するだけでなくて、ヤコブのように神のわざのためにささげ物や献金をして、神の恵みに感謝しよう。われわれは絶えず神の恵みを受けているのであるから、絶えずささげるべきである。」（人類のあけぼの上巻 201, 202）

**b.　なぜ、ヒゼキヤはユダにおいて改革の必要を認めたのですか（歴代志下 29:1–7, 27–33）。わたしたちもまた今日、どの改革が必要ですか。**

「大変な義務の怠慢があった。多くの人々は神がご自分のものとして主張しておられる資金を差し控え、そうすることによって、神に対して盗みを働いている。彼らの利己的な心は、神がご自分のものだと主張しておられる彼らのすべての収入の十分の一を捧げてこなかった。また彼らは自分たちの自由献金や感謝献金、慰祭をもって年ごとの集会に来なかった。多くの人々は主の前に空手できた。『「どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか」と言う。十分の一と、ささげ物をもってである。』（マラキ 3:8）。」（教会への証 3 巻 510）

「あなたの慰祭、感謝献金、自由献金を携えてきて、主の前にあなたの心を低くしなさい。そうすれば、このお方はいつでも受け入れ、許す準備があることがわかる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1880 年 7 月 8 日）

「〔主の〕使命者たちは、命のみ言葉を全面に掲げる働きにおいて、不利な条件を負わされるべきではない。彼らが真理を教えるときに、彼らはみ働きを前進させるために投資する資金を持っているべきである。この働きは、最高にして最大の救いの感化力を持つために、正しい時になされなければならない。憐れみの行為がなされなくてはならない。貧しい人や苦しむ人が助けを受けなければならない。この目的のために贈り物や捧げ物が用いられるべきである。特に真理の旗印が一度も掲げられたことのない新しい伝道地では、この働きがなされなくてはならない。」（教会への証 6 巻 384, 385）

### 3. レビ族の寛大さ

**a. 神はどのように義務と祝福を結びつけられましたか（箴言 11:24, 25）。**

「レビ族の時代は、著しく、財産の聖化によって区別されていた。わたしたちが宗教的な目的のためのユダヤ人の献金の標準として什一について語るとしたら、理解して語っているとは言えない。主はご自分の要求を最上位に保たれ、ほとんどすべてのものにおいて、彼らは神にお返しすることを要求されることによって、与え主を思い起こされるのであった。……

良心的なわずかな者は、宗教的関心事の援助のために、また貧しい人々のために、自分たちの全収入の約三分の一を神にお返しした。これらの支払は、特定の階級からではなく、すべての人々からであり、要求は持っている金額に比例していた。」（教会への証 4 巻 467, 468〔筆者強調〕）

「神の民が、世のどの時代にあっても、快活に自ら組織だった慈善と捧げ物や献金における神のご計画を実行するときはいつでも、ちょうど彼らが神のご要求に従ったのに比例して、彼らの労働に繁栄が伴うとの永続的な約束を実感した。」（同上 3 巻 395）

**b. 金銭上の誓約や誓いをなすとき、わたしたちは決して何を忘れてはなりませんか（伝道の書 5:4, 5; 詩篇 66:13, 14）。**

「神はご自分の教会員がご自分に対する彼らの義務を、商売や市場に対する負債と同様に拘束力のあるものとして考えるように望んでおられる。一人びとりは自分の過去の生活を振り返り、支払っていなかったり、贖っていなかったりする誓いがなおざりにされていないか調べなさい。それから、『最後の一コドラントを支払ってしまうまで』さらに努力しなさい。なぜなら、わたしたちはみな、正直と誠実しかテストに耐えることのできない裁判の最終的な判決に直面し、受けることになるからである。」（同上 4 巻 476）

「神はわたしたちの時間と財産の特定された一部を無条件に取りおかれた。これらのご要求を無視することは、神から盗むことである。クリスチャンは、ユダヤ時代の特権よりはるかにすぐれているといって自慢する。そうであれば、わたしたちは神のいにしえの民よりも少なく神のみ事業に捧げることに満足するのであろうか。什一は、彼らの惜しみない献金の一部でしかなかった。当時も今も変わらない義務である自由献金、感謝献金の他に、数々の他の捧げ物が要求された。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1882 年 5 月 16 日）

**4.　　第二の什一**

**a.　ヘブル制度において、何が第二の什一でしたか。また、その目的は何でしたか（申命記 14:22, 23, 27–29; 26:12, 13）。**

「貧者のために備えると同様に、人々が集会に集まることを奨励するために、すべての収入の第二の十分の一が要求された。第一の十分の一について、主は、『わたしはレビの子孫にはイスラエルにおいて、すべて十分の一を嗣業として与え』ると言われた（民数記 18:21）。しかし、第二の十分の一については、次のようにお命じになった。『そしてあなたの神、主の前、すなわち主がその名を置くために選ばれる場所で、穀物と、ぶどう酒と、油との十分の一と、牛、羊のういごを食べ、こうして常にあなたの神、主を恐れることを学ばなければならない』（申命記 14:23, 29; 16:11–14 参照）。この十分の一、または、それと同額の金を二年の間、聖所が建てられたところに携えてくることになっていた。神に感謝のささげ物をささげ、祭司のために規定された分もささげたあとで、献納者はその残りの部分を宗教的祭りに用い、レビ人、他国人、孤児、寡婦などを呼んで食べさせなければならなかった。こうして年ごとの祭りのときに、感謝のささげ物をして、祭りを行なう準備がされていて、人々は、祭司やレビ人との交わりに導かれ、神の奉仕について教えと励ましを受けることができた。

「ところが、三年めになるといつでもこの第二の十分の一は、……〔申命記 26:12 引用〕……レビ人や貧者を、家庭でもてなすことになっていた。この十分の一は、慈善ともてなしの資金を提供した。」（人類のあけぼの下巻 166 ～ 168）

**b.　第二の什一は、どのように霊的な意味において、捧げた者の益となりましたか。またどのような方法において、今日それは祝福となることができますか（箴言 19:17）。**

「果樹園や田畑の収穫物であれ、家畜であれ、手や頭脳の仕事による収入であれ、あらゆる収入の十分の一を神に献納し、さらにまた第二の十分の一を貧民の救済やその他の慈善的な用途にあてることによって、人々は万物が神の所有であるという真理と、人は神の祝福をとりつぐ機会を与えられているという事実を、たえず心に新たに感じさせられた。それは偏狭な利己心を殺し、広い高潔な品性を養うための一つの訓練であった。」（教育 38）

「新しい場所での熱心な伝道の働きをなすのに、第二の什一を用いる場所は、豊かにある。」（原稿リリース 7 巻 139）

## 木曜日 *5月24日*

**5.　　正しい精神をもって捧げる**

**a.　神のみ事業に捧げるときに、わたしたちは何を悟るべきですか（マルコ 12:41–44）。わたしたちは初穂と他の献金の金額をどのように決めることができますか（申命記 16:17）。**

「『あなたは、わたしの主人にどれだけ負債がありますか』（ルカ 16:5）。それを述べるのは不可能である。わたしたちが持っているものはすべて神からのものである。このお方はわたしたちの財産に手をかけて、次のように言われる、『わたしは全宇宙の正当な所有者である。これらの者はわたしのものである。什一と献金をわたしに捧げなさい。あなたがこれらの特定されたものを、わたしの統治権への忠誠と服従のしるしとして携えてくるならば、わたしの祝福はあなたの財産を増し加え、あなたは豊かに持つようになる』。」（教会への証 9 巻 245）

「宗教と慈善の目的のためにヘブル人に要求された献金額は、彼らの収入の四分の一に及んだ。人々の財産に、このような重税が課せられたのでは、人々は貧困に陥ってしまうと思われるであろう。ところが、この規則に忠実に従うことが、彼らの繁栄の条件の一つであった。」（人類のあけぼの下巻 161, 162）

**b.　主は、わたしたち一人びとりがどのような態度を表すことを望んでおられますか（コリント第二 9:6, 7; マタイ 6:1–4）。**

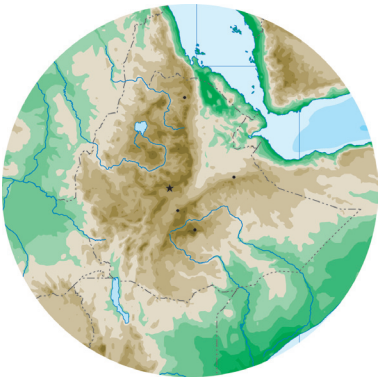
「主は、わたしたちの献金を必要とはしておられない。わたしたちは自分の贈り物でこのお方を富ませることはできない。詩篇記者は次のように言っている、『すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです』（歴代志上 29:14）。しかし、神はわたしたちが自分の受けた神の憐れみを他の人々にも差し伸べるために自己犠牲の努力によって感謝を示すことを許しておられる。これが神にわたしたちの感謝と愛を表すことのできる唯一の方法である。このお方はそれ以外にはお備えになっていない。」（管理者への勧告 18, 19）

## 金曜日 *5月25日*

**個人的な復習問題**

1. **なぜ主は初穂をご自分に捧げることを、わたしたちに要求なさるのですか。**
2. **主は、今日なお、わたしたちのためにどのような種類の献金を規定しておられますか。**
3. **捧げることにおけるヘブル人の模範から、わたしたちは何を学ぶことができますか。**
4. **わたしたちの時代に、第二の什一は、どのような目的のために用いることができますか。**
5. **神の御目に、捧げ物の価値はどのように量られますか。**

## 第一安息日献金
## エチオピアのために



エチオピア連邦民主共和国は、世界の中で最も古い国の一つです。ブリタニカ・コンサイス百科事典によれば、「エチオピア、聖書的にはクシの地は、古代のごく当初より人が住み始め、かつては古代エジプトの支配下にあった。ダアマン王国は紀元前 7 世紀に建国された。キリスト教は、西暦 4 世紀に紹介され、広まった」とあります。

エチオピアの面積は 1,104,300 平方キロメートルです。人口は 90,873,739（2011 年 7 月推計）です。言語は、アムハラ語、オロミグナ語で、宗教は、キリスト教（エチオピア・オーソドックスが主要）、プロテスタント、イスラム教、そして他の土着の信仰です。

エチオピアにおけるわたしたちの歴史を簡単に述べますと、SDA の牧師、シレシ兄弟と幾人かの支持者が改革運動を、SDA 教会の中で始めました。しばらくして、これらの兄弟たちは、相当な数の信徒と共に、教会から追い出され、独立しました。しばらく後、彼らは別のグループと一緒になりました。

2008 年 6 月に、セブンスデー・アドベンチスト改革運動の二人の牧師、マイケル・ストイコとジョライ・P・ダ・クルスが、ナイジェリアへ向かう途中、そこへ入るためのビザを取得するために、エチオピアの首都であるアディス・アババに寄りました。クルス兄弟は、指導的な兄弟たち、主にシレシ兄弟とミゲイル兄弟に連絡を取り、彼らにわたしたちの出版物を残しました。後に、同年の 11 月に、聖書研究会が開催され、二人の牧師と七人の働き人が、改革運動の側に立場をとりました。2009 年 1 月に、435 人の新しい教会員と共に二つのエチオピアミッションが設立されました。今日、エチオピア連合ミッションは、およそ 600 人のメンバーで組織されています。

わたしたちは、緊急に大都市アディス・アババに礼拝堂と本部を設立する必要があります。プロジェクトを実行するだけの資金がないため、世界中の兄弟、姉妹、友人方にこの目的を実現するためにお願いいたします。

「多くの人たちがもっと広い働きに召されるであろう。全世界は福音のために開かれつつある。エチオピアは神に手をさしのべている。」（教育 310）

アディス・アベバにおける力強い灯台を建てるために、心をひろく開き、みなさんの資金的な祝福を分けていただけますでしょうか。

エチオピアからの皆さんの兄弟姉妹より

# 神の倉：このお方の教会

**「あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によろこばれる霊のいけにえを、ささげなさい。」（ペテロ第一 2:5）**

「キリストの教会は、このお方の御目に非常に尊い。それは、このお方の宝石の入っている宝石箱であり、このお方の群れをかこむ囲いである。」（信仰によってわたしは生きる 280）

推奨文献：　患難から栄光へ上巻 1–8

## 日曜日　*5月27日*

**1.　キリストの群れのための囲い**

**a.　神はなぜ、地上に教会をもっておられるのですか（ペテロ第一 2:5, 9）。**

「教会は人類救済のために神がお定めになった機関である。教会は奉仕するために組織された。その使命は世界に福音を伝えることである。教会を通して神の満ちあふれる豊かさを世界に反映させることが、神のはじめからのご計画であった。暗やみから驚くべき光に招き入れられた教会員たちは、神の栄光をあらわさなければならない。教会はキリストの恵みに富んだ宝庫であり、教会を通して神の愛がついには『天上にあるもろもろの支配や権威』に対してさえも十分明らかに示されるのである（エペソ 3:10）。」（患難から栄光へ上巻 1）

**b.　神の真の教会において、どのような特徴が重要不可欠ですか（黙示録 14:12; エペソ 4:4–6）。**

「わたしたちは一致しなければならないが、誤謬の土台の上にではない。」（特別な証 B ｼﾘｰｽﾞ , No. 2, 47）

**2.　　安全な避難所**

**a.　わたしたちの心のうちにあるキリストのご臨在だけが（ヨハネ 15:4, 5）、わたしたちを真理のうちに一つにすることができるのですから、わたしたちは初期の弟子たちのどの模範を忘れるべきではありませんか（使徒行伝 1:13, 14; 2:46; 4:32）。**

「〔十二弟子たちは〕いろいろな欠点と、みな先天的後天的な悪への傾向を持ったまま集められた。しかしキリストのうちにあって、またキリストを通して、彼らは、神の家族のうちに住み、信仰において、教理において、精神において一つとなることを学ぶのであった。彼らは、試練も、苦情も、意見の相違もあったが、しかしキリストが彼らの心に住んでおられるかぎり、不和があるはずはなかった。キリストの愛がお互の愛となり、主の教訓がすべての不和を一致へみちびき、弟子たちは一体となって、ついには一つの心、一つの意見となるのであった。」（各時代の希望上巻 382, 383）

**b.　わたしたちがキリストに自分の生涯をおゆだねするとき、各々にどのような責任がもたらされますか（テモテ第一 3:15）。**

「キリストとキリストの教会との関係は非常に密接でありまた神聖である。キリストは花婿であり、教会は花嫁である。キリストはかしらであり教会は身体である。したがってキリストにつながることはキリストの教会につながることになる。

教会は奉仕のために組織されているのであって、キリストに奉仕する人生の第一歩はまず教会につながることでなければならない。キリストに忠誠をつくす者には教会の義務を忠実に果たすことが要求される。」（教育 317）

**c.　どの特権が、神の真の教会の各教会員に及んでいますか（ヨハネ第一 1:7; ヘブル 10:24, 25）。**

「説教は、魂の救いのためになされるべき働きにおいて小さい部分である。神の御霊が罪人に真理を説得し、彼らを教会のかいなの中におかれる。牧師たちは自分の役割を果たすかもしれないが、教会がなすべき働きを果たすことは決してできない。神はご自分の教会が信仰と経験において若い人々を養うように要求しておられる。彼らのところへ、噂話をするためではなく、祈って彼らに『銀の彫り物に金のりんごをはめたよう』な言葉を語るために行くべきである（箴言 25:11）。」（伝道 352）

**3.　奉仕のために召される**

**a.　信徒のどの義務がしばしばなおざりにされていますか（詩篇 60:4）。**

「わたしたちの組織された多くの教会において、真理の旗印がちりの中に引きずられている。なぜなら、教会員が神への奉仕をせずに、自分自身の楽しみに仕えているからである。彼らは魂をとりまく感化力を通して働いている。教えと模範によって、自己放縦や世俗的な服装の習慣や言葉や行動において、彼らは真理に反して、自己否定に反して、またキリストの柔和に反して証する。彼らは霊的に冷たく、キリストからは遠く離れている。もし彼らがキリストのみ足のあとに従っているならば、このお方の自己否定と、その自己犠牲にあずかる者となり、今にも滅びようとしている魂を引き上げて、救うことができるであろうに。」（原稿ﾘﾘｰｽ 19 巻 173）

**b.　何が、キリストの信徒一人びとりの召しですか（テモテ第二 2:1–4）。**

「キリストの教会は人に尽すための組織であって、その標語は奉仕である。教会員は救いの隊長の下で戦うために訓練される兵士である。クリスチャンの伝道者、医者、教師には多くの者が認識している以上に広い働きがある。彼らは人々に奉仕するばかりでなく、その人々に奉仕することを教えなければならない。また正しい原則を教えるだけでなく、これらの原則を他人に分け与えることができるように聴衆を教育すべきである。実践を伴わぬ真理や人にわけ与えない真理はその生命力を失い、いやす力を失ってしまう。真理の祝福は他人にわけ与えて初めて持続することができるのである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 120, 121）

**c.　何が教会を一致させるために助けとなりますか（ガラテヤ 6:2; エペソ 4:1–3）。**

「教会は、宣教師である働き人と共感のうちに結ばれるまでは、神が到達するように望んでおられる立場にまで到達することができない。キリストが祈られた一致は、霊性が伝道の奉仕に持ちこまれ、また教会が使命を支えるための機関となるまでは、決して存在することができない。地元の伝道地にいる教会員が言葉だけでなく、行動において、自分たちの心からの援助をこれらの宣教師たちに与えるという自分たちにおかれた義務を自覚していることを示すまでは、宣教師たちの努力がなすべきことをなしとげることはない。」（管理者への勧告 47, 48）

**4. 成長し、発展する**

**a. 霊感は、どのように教会の信徒の成長と発展を描写していますか（エペソ 2:19–22; 4:14–16; コリント第一 3:9–13）。**

「神はご自分を信じると主張する魂一人びとりを試しておられる。すべてのものにタラントが委ねられている。主は、それをつかって商売のできるご自分の財産を人にお与えになった。このお方は彼らをご自分の管理者となさり、金銭や家や土地を彼らの所有としておかれた。これらすべてのものは、主の財産としてみなされ、このお方のみ働きを前進させ、この世でこのお方のみ国を築くために用いるべきである。主の財産で取引をする際に、わたしたちはこのお方の神聖な委託物を自分自身に栄光を帰するために用いたり、利己的な衝動にふけることがないように、このお方に知恵を求めなければならない。委ねられている額はさまざまであるが、最も小さい賜物を持っている人々も、自分の財産のタラントが小さいからといって、それでできることは何もないと感じてはならない。」（教会への証 9 巻 245, 246）

「わたしたちの働きは、多くの賜物や遺産によって支えられてきたのではない。なぜなら、わたしたちのうちに裕福な人はほとんどいないからである。何がわたしたちの繁栄の秘訣であろうか。わたしたちは自分たちの救いの将の命令の下で動いてきた。神はわたしたちの一致した努力を祝福してこられた。真理は広められ、繁茂した。施設は増えていった。からし種は大木に成長した。組織の制度は、大成功であることが証明された。組織的な慈善は、聖書の計画に従って、開始された。体の『全身はすべての節々の助けにより、しっかりと組み合わされ』てきた（エペソ 4:16）。」（牧師への証 27）

**b. 信徒たちの間で、何がタラントや基金を最も効果的に用いられるようにしますか（コリント第一 1:10; 14:40）。その一方、多くの安息日遵守者の間で、何が多くを失わせますか。**

「ああ、徹底した組織が重要不可欠であり、それが偽物の台頭や神のみ言葉に裏付けられていない主張が間違いであることを証明するための最大の力となるときに、サタンはこの民の間に入り込み、働きの組織を乱すことをどれほど喜ぶことであろう！わたしたちは均衡に保ち、規制や秩序の制度が破たんしないようにしたいのである。この方法では、無秩序な要素がこの時代の働きを支配する許可を得ることはない。わたしたちは秩序、制度、行動の一致が最も重要不可欠な時代に生存している。」（牧師への証 228）

## 木曜日 *5月31日*

**5.　　最善の奉仕と信頼性**

**a.　わたしたちの伝道努力における成功を保証するために、キリストの信徒たちの間で、存在すべき状態を描写しなさい（ヨハネ 10:16; 13:35; 17:18–23）。**

「わたしたちのメンバーが増えるにつれ、何らかのかたちの組織がなければ、大変な混乱となり、働きが成功のうちに進められないことは明らかである。牧会の援助を提供するために、新しい伝道地での働きを進めるために、教会と牧会をふさわしくない教会員から守るために、教会の財産を守るために、出版所を通して真理の出版を行うために、そしてそのほか多くの目的のために、組織は不可欠である。」（牧師への証 26）

「『教会は、神の言葉に逃れていって、これまで無視されおろそかにされていた福音の秩序に、堅く立たなければならない』と天使は言った。これは教会が信仰において一致するためには、どうしても必要なことであった。」（初代文集 195）

「イエスは、ご自分の弟子たちが皆一つになるようにと祈られた。……わたしたちが、キリストの使命について世を説得し、世に対する神聖な信任状をになうのは、この一致を通してである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 3 月 11 日）

「もし兄弟や姉妹の間に問題があったならば、もしねたみ、悪意、苦々しさ、邪推が存在したならば、それらの罪を、全体的な方法ではなく、あなたの兄弟もしくは姉妹のところへ個人的に行って告白しなさい。明確でありなさい。もしあなたが一つの悪をなし、彼らが二十の悪をなしていたなら、その一つを、あたかもあなたが違反者のかしらであるかのように告白しなさい。彼らの手をとり、あなたの心を神の御霊の感化の下にやわらげて、言いなさい。『わたしを許してくださいますか。わたしはあなたに対して正しい気持を抱いてきませんでした。わたしはすべての悪を正し、天の書物のなかでわたしに不利になるものが何一つ登録されていることがないようにしたいのです。わたしはきれいな記録を持たなければなりません』。考えてご覧なさい、このような動きに抵抗する人がいるであろうか。」（同上 1884 年 12 月 16 日）

## 金曜日 *6月1日*

**個人的な復習問題**

**1.　わたしたちは神の真の教会をどのように特定できますか。**
**2.　なぜ、各個人の信徒にとって、教会員になることが重要なのですか。**
**3.　わたしたちはどのような方法で、真理に不利となる証をする危険がありますか。**
**4.　教会における一致を助長する要素をいくつか挙げなさい。**
**5.　わたしたちはどのように世に対する自分たちの神聖な信任をになうべきですか。**

第 10 課　　安息日 2012 年 6 月 9 日

# ご自分のみ働きに資金を供給する神のご計画

**「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である。」(コリント第一 3:9)**

「神は、人々を神の管理者になさった。神が人々の手にお任せになった財産は、福音を広く伝えるために神がお備えになった資金である。」(人類のあけぼの下巻 165)

推奨文献：　教会への証 4 巻 571–575, 645, 646

## 日曜日　*6 月 3 日*

**1.　一人びとりに何かが**

**a.　神の散らされている羊を完全にし、一つにする神の方法は何ですか (エペソ 4:11–16)。**

「わたしたちの救い主は、ご自分の牧師たちを遣わすために、人々に賜物をお与えになった。なぜなら、彼らを通して、ご自分が世に命のみ言葉をお伝えになるからである。これが知識と真の聖潔において聖徒たちを完全にするために、神が定められた手段である。」(教会への証 5 巻 237)

**b.　これは、どのように信徒一人びとりのための義務と特権とに関わっていますか (コリント第一 3:7, 8)。**

「主は、福音の宣布をご自分の民の献身した能力と自発的な贈り物や捧げ物に依存するようになさった。このお方はみ言葉を説くように人を召される一方で、自分たちの資金を働きの援助のために捧げることによって、働きにあずかることを教会全体の特権としておられる。」(天国で 303)

**2.　　神の方法を学ぶ**

**a.　多くの人々は、今日どのようにナダブとアビフの罪を繰り返していますか（レビ記 10:1, 2）。**

「神のみ働きの援助のために与えられたこのお方の指示の中で、どこにわたしたちはバザーやコンサート、派手な販売会や同様の娯楽について述べているのを見出すであろうか。主のみ事業は、まさにこのお方がそのみ言葉の中で禁じられていることに―神から思いをそらし、節度から、敬神や聖潔からそらすものに―依存しなければならないのであろうか。

そして不信者の思いに、なんという印象を与えることであろう。神のみ言葉の聖なる旗印はちりの中にまで低められている。神とクリスチャンの名に、軽蔑が投げかけられている。最も堕落した原則が、この聖書的でない資金の集め方によって強められている。そしてこれこそ、サタンの望むとおりである。人はナダブとアビフの罪を繰り返している。彼らは神の奉仕において、聖なる火の代わりに異火を用いている。主はそのような捧げ物をお受入れにならない。」（管理者への勧告 204, 205）

**b.　資金を集めたモーセの方法とイスラエル人の反応から、わたしたちは何を学ぶことができますか（出エジプト記 35:4, 5, 21, 29; 36:3–7）。**

「幕屋建設のためのモーセの募金計画は、大成功であった。勧める必要はなかった。現代の教会がよく行なうような方法は何一つ用いなかった。彼は、大宴会を開かなかった。また、人々をはなやかなところ、ダンスの場所、一般の娯楽場などに招待しなかった。神の幕屋の建設資金を得るために、宝くじや、この種の世俗の方法を制定なさらなかった。主は、イスラエルの子らに、ささげ物を携えてくるように頼めとお命じになった。モーセは、心から喜んでささげる者からは、だれからでもささげ物を受け取った。そして、全部用いることができないほどたくさんのささげ物を人々が携えて来たので、モーセは、人々にもう持って来ないようにと命じたほどであった。」（人類のあけぼの下巻 164, 165）

**c.　捧げることに関して、わたしたちは何を心に留めるべきですか（コリント第二 9:7）。**

「あなたは神があなたに与えてくださった豊かさの中から、あなたの贈り物と捧げ物を携えてきたであろうか。あなたはこのお方がご自分のものだと主張なさるものをお捧げしたであろうか。まだであれば、今でも過ちを正すのに遅すぎることはない。イエスの御霊は魂に充満している氷のような利己心を溶かすことができる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1896 年 10 月 13 日）

**3. 実際的な勧告**

**a. わたしたちはどのようにメロズの受けたのろいを受ける危険性がありますか（士師記 5:23）。**

「〔士師記 5:23 引用〕。メロズは何をしたのであろうか。何もしなかったのである。これが彼らの罪であった。神ののろいは、彼らがしなかったことに対して、彼らの上に下った。」（教会への証 2 巻 284）

「利己心の実はいつも、義務の怠慢と、神の委ねられた賜物をこのお方の働きの前進のために用いないことに現れる。」（管理職への勧告 26）

「魂を救うために用いられるのに、ほんのわずかな額の資金が主の金庫に流れ込む。そして、これが得られたとしても、それは大変な働きを伴うのである。蔓延している貪欲がどれほど神のみ働きの前進を妨げているか、またもしすべての人が什一や献金における神のご計画に従って行動しているならば、どれほど多くのことができたはずであるかを見るために、すべての人の目が開かれるならば、多くの人の側で徹底的な改革がなされることであろう。なぜなら、彼らはこれまでしてきたように、あえて神のみ事業の進展の働きを妨げようとはしないからである。」（教会への証 4 巻 483）

**b. 聖書は、個人の経済について、何を教えていますか（箴言 21:20; ヨハネ 6:12）。**

**c. どのような方法で、今日のマケドニアの叫びは、わたしたち一人びとりから何かを要求し、またどのように、わたしたちはそれらに注意を払うことによって祝福されますか（使徒行伝 16:9, 10）。**

「各自は、イエスのために自分のなしうるすべてのことをなすため、個人的な努力によって、贈り物によって、また犠牲によって奮闘すべきである。至る所から聞こえてくるマケドニアの叫びに応えることができるように、主の家には食物と金庫いっぱいの資金があるべきである。わたしたちが助けを求めて叫ぶ人々に次のように言わなければならないとしたら、なんと遺憾なことであろう。『わたしたちは人もお金も送ることができません。金庫が空っぽなのですから』。」（管理職への勧告 298）

「わたしたちは節約できるすべての資金を主の金庫におくべきである。この資金は、困窮したまだ働きのなされていない伝道地が求めている。多くの地域から、叫びが響いている、『渡ってきて、わたしたちを助けて下さい』（使徒行伝 16:9）。わたしたちの教会員は、地元や外国の伝道に深い関心を感じるべきである。彼らが新しい領域に真理の旗印を打ち立てるために自己犠牲的な努力を払うとき、大きな祝福が彼らにもたらされる。この働きに投資された金銭は、豊かな報酬をもたらす。」（教会への証 9 巻 49）

**4. 神のご計画におけるわたしたちの役割**

**a. わたしたちの什一と献金は、新しい伝道地を開くことにどのようにかかわっていますか（テモテ第一 5:17, 18）。**

「什一は主のものである。そして、それを勝手にさわるものは、悔い改めない限り、自分たちの天の宝を失うことによって罰せられることになる。これ以上、什一が主の言われた唯一の行き先以外のさまざまな分野に分散されることによって、働きが行き詰ることのないようにしよう。これらの働きの他の分野のために備えがなされるべきである。それらは維持されるべきであるが、什一からではない。神は変わっておられない。什一はなおも牧会を支えるために用いられるべきである。新しい伝道地を開くためには、今以上に牧会の力が要求される。そして、金庫には資金がなくてはならないのである。」（福音宣伝者 227, 228）

「もし、老若共に、神の民だと公言している者がすべて自分たちの義務を果たすならば、金庫に欠乏は生じない。もしすべての者が忠実に什一を払い、自分たちの所得の初穂をお捧げするならば、このお方のみ働きのために基金を十分に供給するのである。」（教会への証 6 巻 385）

**b. ダビデはわたしたちが惜しみなく捧げる者となるように、どのように奨励していますか（歴代志上 29:10–14）。**

「人間に財産をお恵みになるのは神であって、これをなさるのは、彼らがみ事業進展のためにつくすことができるためである。神は日光や雨を送ってくださる。また、植物を豊かに成長させてくださる。神は健康を与えてくださり、目的を果たす能力を与えてくださる。祝福はすべて神の恵み深いみ手から与えられる。その代わりに神は、男にも女にも財産の一部を什一及びその他の献金、すなわち感謝のささげもの、任意のささげもの、また罪のためのささげものとして神に返し、感謝の気持ちを現すよう求められる。神の定めたこの計画にしたがって、あらゆる所得の十分の一や惜しみないささげものなど、資産が倉に蓄えられるならば、主のみわざはゆたかに進展するのである。」（患難から栄光へ上巻 76）

「もし神のご計画に従っているならば、いまこのお方の金庫に資金が流れ込んでいるはずである。そして牧師たちが新しい伝道地に入り、また地の暗い場所に真理の旗印を掲げるために働き人たちが牧師たちに加わるための基金が豊かにあるはずである。」（教会への証 6 巻 386）

## 木曜日 *6月7日*

**5.　　責任と特権**

**a.　神の民は、どのようにキリストが栄光の雲に乗って戻られるのを早めたり、遅らせたりしますか（ペテロ第二 3:11, 12）。**

「キリストの教会が命じられた働きを主がお定めになった通りにしていたら、全世界に対する警告はすでに終わって、主イエスは力と大いなる栄光をもってこの地上においでになっていたのである。」（各時代の希望下巻 101, 102）

「神の働きは現在の十倍の力と効果をもって進められるべきであるが、神の民だと公言するある人々が、神の奉仕に捧げられるべき資金を自分自身のために横領しているために、ちょうど春が冬の冷たい突風によってとどめられているように、それもおしとどめられている。キリストの自己犠牲的な愛が生活習慣に織り込まれていないために、教会は強くあるべきところで弱い。教会自身の方針によって、光を消してしまい、何百万もの人からキリストの福音を奪っている。」（管理職への勧告 54）

**b.　どのような特権が、信徒一人びとりに及んでいますか（コリント第一 3:9）。**

「神は人を、地上においてご自分の王国を前進させる偉大な働きにおけるご自分の分配人、または共同者となさった。しかし、彼らは不忠実な僕の取った道をたどり、そうすることによって人に与えられた中で最も尊い特権を失うことも可能である。何千年もの間、神は人間の代理人を通して働いてこられた。しかしご自分の意のままに、このお方は利己的な者、金銭を愛する者、貪欲な者を落とすこともおできになる。このお方はわたしたちの資金に依存しておられないし、また人間の代理人によって制限されることもない。このお方はわたしたちがそれにまったく参加しなくても、ご自身の働きを進めることがおできになる。しかし、わたしたちのうちでだれが、主にそうされることを喜ぶであろうか。」（同上 198, 199）

## 金曜日 *6月8日*

**個人的な復習問題**

**1.　神の民を完全にし、一致させるのを助けることのできる一つの方法は何ですか。**
**2.　誤った基金の集め方は、どのように神の方法と対照をなしていますか。**
**3.　個人的な小さな支出が、どのように神のみ働きを妨げますか。**
**4.　もしすべての者が、ダビデの寛大さを培ったならば、何が起こるはずですか。**
**5.　わたしたちはどのように主の再臨を早めたり、遅らせたりすることができますか。**

第 11 課　　安息日 2012 年 6 月 16 日

# 聖書的な財務の原則

**「もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば、このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。」（申命記 28:2）**

「われわれは天に宝を蓄積するとき、この世の生活も必ずそれによって豊かになり高潔になることを見いだすであろう。」（教育 161）

推奨文献：　患難から栄光へ上巻 70–77;
教育 149–161

## 日曜日　*6 月 10 日*

**1.　　個人的な財政**

**a.　主のみ事業をなおざりにすることから、今も永遠もどのような結果となりますか（ハガイ 1:5–11）。**

「利己的に自分たちの資金を差し出さずにいる人々は、もし神のみ手が散らされても驚く必要はない。神のみ働きとみ事業の前進のために捧げられるべきであったのに、差し出さずにいたものは、向う見ずな息子に委ねられて、彼が散財してしまうかもしれない。むなしい心の誇りであった立派な馬が、厩舎（きゅうしゃ）で死んでいるのが発見されるかもしれない。ときおり、牛が死ぬかもしれない。果実や他の作物の損失があるかもしれない。神はご自分が管理者に貸し与えられた資金を、彼らがご自分の栄光のために用いることを拒むならば、散らすことがおできになる。ある人々は、義務における自分たちの怠慢を思い起こさせるこれらの損失が一つもないかもしれないが、彼らの場合はもっと希望がないかもしれないのである。」（教会への証 2 巻 661, 662）

「あなたの会計簿の中でキリストを告白することをなおざりにすると、あなたの名を小羊の命の書に登録していただくという偉大な特権から、あなたを切り離すことになる。」（わたしたちの高い召し 192）

**b.　助けを申し出るよりは、いつも助けを求めることが習慣になっているすべての人は、何を考慮すべきですか（申命記 28:12, 13）。**

**2.　条件的な約束**

**a.　神はご自分の民のために、今日でさえ、何を望んでおられますか（申命記 28:1–6）。**

「『荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ』とのみ言葉が、一人びとりの信者に及んでいる（イザヤ 40:3）。自分自身で、資金の支出を節約しなさい。自己否定の最初の一歩は、たいてい最も難しいのであるが、ただちに始めなさい。あなたの自己否定の捧げ物は、堕落した世に与えられる最後の憐れみのメッセージを伝えるべく働き人を送るためにこの伝道地で用いられるであろう。」（世界総会冊子 1899 年 4 月 1 日）

「ユダヤ民族よりも、はるかに優れた特権にあずかっているクリスチャンたちが、彼らよりも少なくささげることは、神のみこころではない。『多く与えられた者からは多く求められ』ると救い主は言われた（ルカ 12:48）。ヘブル人に要求された物惜しみしない心は、主として、彼ら自身の国の利益のためであった。今日、神の働きは、全世界にひろがっている。キリストは、弟子たちの手に福音の宝をゆだね、救いの喜びの知らせを全世界に伝える責任を彼らに負わせられた。確かに、われわれの義務は古代イスラエルの人々よりははるかに大きいのである。」（患難から栄光へ下巻 18）

**b.　神の資金的な計画に従うすべての人々に、どの約束が保証されていますか（マラキ 3:11, 12）。**

「だれでも自分はこの救いのとうとい働きを前進させる上でその一端を負っているのだと感じることができる。男も女も青少年も主の会計となって、財政上の要求に応じる一手段となることができる。使徒パウロは『あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえてお……くようにしなさい』と言っている（コリント第一 16:2）。

この制度によって大きな目的が達成される。すべての人がみなこの制度をうけ入れるならば、各々神のために用心深い忠実な会計係となることができる。そうすれば、世界に最後の警告のメッセージを叫ぶこの大いなる働きを前進させるための費用に欠乏することがない。みなが、この制度を採用すれば、金庫はいっぱいになり、献金者もそのために貧しくなることはない。神の事業に投資するたびにますます現代の真理と密接な関係を持つようになる。」（青年への使命 303）

**3. キリストの時代からの教訓**

**a. どのようにベツレヘムの幼子への博士たちの献身が、わたしたちの励ましとなることができますか（マタイ 2:1, 2, 11）。**

「博士たちはあがない主をよろこび迎えた最初の人々の仲間だった。彼らの贈り物はイエスの足もとにささげられた最初の贈り物だった。その贈り物によって、彼らは何というとうとい奉仕の特権をわがものとしたことだろう。神は愛の心から出た贈り物をよろこんでとうとび、神への奉仕にそれを最も効果的にお用いになる。心をイエスにささげたなら、われわれもまた贈り物をイエスのもとに持参するであろう。われわれの金も銀も、われわれのどんなに貴重なこの世の財産も、またわれわれの最高の知的霊的才能もみな、われわれを愛し、われわれのためにご自身をお与えになったイエスに惜しみなくささげられるであろう。」（各時代の希望上巻 56）

**b. マリヤがイエスに油を注いだことから、わたしたちは何を学ぶべきですか（マルコ 14:3）。**

「神のみ事業に捧げるべき割合を決めるときに、義務の要求に足りないよりはむしろ、超えることを確かめなさい。献金がどなたに捧げられているのかを考えなさい。この記憶によって貪欲は逃げ去る。ただキリストがわたしたちを愛して下さった大きな愛を考えなさい。そうすれば、わたしたちの最も富んだ捧げ物がこのお方に受け入れていただく価値のないものに見えるようになる。キリストがわたしたちの愛情の対象であられるとき、このお方の許しの愛を受けてきた人々は、高価な香油の石膏のつぼの価値を計算することをやめるようになる。貪欲なユダはそうすることができた。しかし、救いの賜物を受けた人は、捧げ物がもっと香り高く、もっと大きな価値をもっていないことを残念に思うだけである。」（教会への証 4 巻 485）

**c. 習慣的に愛に頼る人々は、どのように―マリヤのように―愛を与える者となることができますか（使徒行伝 20:35）。**

「もし人生に成功してこなかった人々が、教えられることを望むなら、彼らは自己否定と厳密な倹約の習慣を身につけ、愛を受けるよりは、分け与える者となることに満足するよう自らを訓練することができる。怠け者の僕たちが大勢いる。もし彼らが自分たちの力でなし得ることをなすならば、他の人々を助けることにおいて、大きな祝福を経験し、じつに『受けるよりは与える方が、さいわいである』ことを悟るようになる（使徒行伝 20:35）。」（同上 3 巻 400, 401）

**4.　使徒たちの時代に**

**a.　福音を宣布するにあたり、わたしたちはどのような目的の強さを初期のクリスチャンたちと共にすべきですか（使徒行伝 4:32–37）。**

「〔使徒行伝 4:34, 35 引用〕。信者たちのこのような寛容さは、聖霊が注がれた結果であった。福音を受け入れた人々はみな、『心を一つにし思いを一つにし』た(32節)。彼らの心はただ一つの共通な関心事に支配されていた。それは彼らに委託された伝道事業を成功させることであった。彼らの生活に、貪欲がはいり込む余地はなかった。兄弟たちへの愛や自分たちが引き受けた働きに対する愛は、金銭や所有物に対する愛よりも強かった。彼らは地上の富よりも人の魂を高く評価していることを、実際の働きで証拠だてた。

神のみ霊が生活を支配するときには、常にこのようなことが起こるのである。心がキリストの愛で満たされている人々は、ご自身の貧しさによってわれわれが富むものとなるように、われわれのために貧しくなられたキリストの模範に従う。金銭、時間、感化力など、神のみ手からさずけられた賜物すべてを、彼らはただ福音のわざを進展させる手段として重んじるのである。初代教会ではそうであった。そして、今日も、教会の中で、教会員たちが聖霊の力に導かれて、世俗的なことがらへの愛着を捨て、自分たちの同胞に福音を伝えるために、よろこんで犠牲をはらうことが見られるならば、宣べ伝えられる真理は、聞くものの心を力強く動かすであろう。」（患難から栄光へ上巻 70, 71）

**b.　わたしたちはアナニヤとサッピラの巧妙な欺瞞とその悲惨な結果から、何を学ぶことができますか（使徒行伝 5:1–11）。**

「自己犠牲と惜しみない心とクリスチャン信仰への献身のために評判を得たくて、アナニヤとサッピラは自分たちの財産を売って、その利益の一部を、あたかも全部捧げたかのように装って、使徒たちの足元に置いた。彼らは自分たちの持っているものをすべてみ事業のために捧げるようにと迫られたのではなかった。神は一部でもお受入れになったはずであった。しかし、彼らは全部捧げたと思われたかった。こうして彼らは自分たちの熱望する評判を得ながら、同時に自分たちの金銭の一部を取っておけると思った。彼らは自分たちの策略に成功したと思った。しかし、彼らは主を欺いていたのであった。そして主はこれを、すなわち新しく組織された教会における最初の欺瞞と虚言の事件をただちに処置なさった。主は恩寵を得るために真理を犠牲にする危険について、すべての人に対する警告として、両者とも殺された。」（医事伝道 126, 127）

## 木曜日 *6月14日*

**5.　秩序だった自己否定**

**a.　地上での神のみ事業の運営と資金的な支えにおいて、何を悟らなければなりませんか（コリント第一 14:33）。**

「神はみわざに承認の印をおすことができるように、それが完璧に正確に進められることを望んでおられる。クリスチャンはクリスチャンと、教会は教会と一致し……なければならない。」（患難から栄光へ上巻 99）

**b.　神の忠実な民が例示してきた自己否定の方法から、わたしたちは何を学ばなければなりませんか（ヘブル 11:8–10, 24–26, 37–40）。**

「真理に耳を傾け、それを奉じる人がわずかしかなく、しかもこの世の財産はあまり持っていなかった時があった。そのとき、ある人々は自分たちの家や土地を売り、もっと安いものを手に入れる必要があったが、その一方、彼らの資金は、真理を出版するために、あるいは神のみ事業を前進させる際に別の方法で助けるために主に惜しみなく貸し出された。これらの自己犠牲的な人々は、欠乏に耐えた。しかし、もし彼らが最後まで耐え忍ぶならば、彼らの報いは大きい。

神は多くの人々の心に働きかけてこられた。わずかな人々が犠牲を払ってきた真理は、非常に勝利し、群衆がそれをつかんだ。神のみ摂理において、働きが増し加わるにつれ、このお方のみ事業の必要が満たされるために、資金をもっている人々が真理に導き入れられた。神は今、ご自分の民が住む必要のある家を求めてはおられないが、もし豊かに持っている人々がこのお方のみ声を聞かず、世から逃れず、神のために犠牲を払わないなら、このお方は彼らをやり過ごして、イエスのために喜んで何でも、すなわち、み事業の必要に応じるために自分たちの家を売却することさえする人々を召される。神は自由意志の献金をお受けになる。捧げる者は、そうすることを特権だとみなさなければならない。」（管理職への勧告 215）

## 金曜日 *6月15日*

**個人的な復習問題**

**1.　愛を受ける者が、どのようにそれを分け与える者となることができますか。**
**2.　わたしたちの慈善は、昔のユダヤ人の慈善と、どのように対比すべきですか。**
**3.　キリストの時代のどのような寛大さの模範がわたしたちを鼓舞すべきですか。**
**4.　初期のキリスト教会の精神から、わたしたちは何を学ぶことができますか。**
**5.　現代の真理の先駆者たちの自己否定は、どのように今日よみがえることができますか。**

第 12 課　　安息日 2012 年 6 月 23 日

# 全世界を明るくする

**「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」（マルコ 16:15）**

「尊い真理の光に喜んでいる人々は、それをいたるところに伝えたいとの燃えるような願いを感じるべきである。」（管理職への勧告 42）

推奨文献：　教会への証 9 巻 51–60;
同上 3 巻 382–385

## 日曜日　*6 月 17 日*

**1.　　マケドニヤの叫びに答える**

**a.　文書は力強い伝道の道具ではありますが、福音の任務を完成するためには、どのような段階をふまなければなりませんか（マタイ 28:18–20）。この勤勉な福音の働き人の必要は、どのようにしてのみ、満たすことができますか（イザヤ 52:7, 8）。**

「神の家に食物があるために、すべての什一を忠実に携えてくるというこの働きは、地元でも外国でも伝道地に働き人を供給する。現代の真理についての書物や出版物は世界のいたるところに知識の宝を注ぎ出しているが、なお伝道の拠点はさまざまな場所に設立されなければならない。生きた説教者が命と救いのみ言葉を宣布しなければならない。働き人に入るように招く開かれた伝道地がある。穀物は実り、働き人を求める熱心なマケドニヤの叫びが世界のいたるところから聞こえる。」（管理職への勧告 39）

**b.　どのような緊急な働きがなされる必要がありますか（マルコ 16:15）。**

「わたしたちの働きの大きさは、神の民の側の自発的な惜しみない心を要求している。アフリカに、中国に、インドに、この時代のための真理のメッセージを聞いたことのない人々が何千も、しかり、何百万もいる。彼らは警告を受けなければならない。海の島々は神の知識を待っている。」（教会への証 9 巻 51）

**2.　　神の什一の重要さ**

**a.　魂の救いにおける個人的な人間の要素を、霊感はどのように強調していますか（ローマ 10:13–15）。わたしたちは、みなどのように関わることができますか（黙示録 22:17）。**

「福音の宣布は、神が人の魂の改心のために定められた方法である。人が救われるためには、聞かなければならない。彼らは説教者がいなければ聞くことができない。であるから、説教者が送られなければならない。このため、宣教師が遠隔地にも行くことができるように資金を備えるべく金庫に基金が必要である。この事実に照らして、キリストに従うと公言する人々は、どうして神ご自身が委ねて下さったタラントを什一や献金において神から盗むことができようか。それは飢えた魂にパンを拒否することではないだろうか。魂が救われるための備えとなるように、神がご自身のものであると主張しておられる資金を差し出さないことは、こうして神から盗む人々の上に、確実にのろいをもたらすことになる。キリストがそのために死なれた魂は、失われた者の啓発のために神が備えてくださった手段を実行することを人々が拒むがゆえに、真理を聞くという特権を与えられないのである。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

**b.　もしわたしたちが時にかなって神の什一をお戻しすることをなおざりにするなら、神は何を要求なさいますか（レビ記 27:31）。1889 年の地方の教会の経験は、どのように今日すべての人を励ましますか。**

「神と正しい関係をもたないで、結果として自ら神から離れていた人々のうちのある者は、自分たちが差し控えていたものを戻し始めた。ある兄弟は、二年間什一を支払ってこなかった。彼は総会の書記に、自分が出さずにいた什一と利子を上乗せした金額 571.50 ドルの手形を渡した。わたしは彼にこうする勇気のあったことを主に感謝した。他の人は、300 ドルの手形を渡した。神から背信し、これまで彼の足が再び義の道に踏み入れる希望はほとんどなかった別の男の人は、1,000 ドルの手形を渡した。これらの長い間滞納されていた什一と献金を、中央ヨーロッパミッションに献金することが提案された。これらの献金とクリスマスの献金をあわせて、伝道事業にあてられるためにこの教会から金庫に入った金額は、ほぼ 6,000 ドルであった。」（教会への証 5 巻 643, 644）

**3. 忠実な洞察力を学ぶ**

**a. マリヤのイエスへの惜しみない心に対して、どのような反対がありましたか（ヨハネ 12:3–6）。キリストはどのようにマリヤをおほめになりましたか。またわたしたちは今日、同じような反対をすることに対して、どのように警告されていますか（マルコ 14:7–9）。**

「わたしたちは漸進的に進んでいる。しかし、一歩ごとに偏見や誤った考えが取り除かれなければならない。これは世界がかつて目撃してきたどの改革運動の場合も同様である。信仰が小さく、利己的で、金銭を愛する気質を持つ者にとって、前進の動き一つ一つは大災難と資金の大浪費の前兆を示してきた。彼らはイエスの頭に香油が注がれたときに、哀れなユダが感じたように感じてきた。なぜこんな無駄遣いをするのか、と彼は言った。これを売って、貧しい人々に与えることができたのに。繰り返し繰り返し、前進の一歩が踏み出されると、利己的で用心深い人々はすべてがだめになっていくと考えた。しかし、あらゆる勝算に対して戦いをなしたとき、彼らは神が運動の中におられたしるしとして勝利を熱烈に是認してきた。不信が認めなければならないほど、働きが神のものであることを完全に示されたときに、先導してきた人々、先見性が他の人よりすぐれていた人々、あらゆる反対に逆らって働いてきた人々は、その時のために立てられ、神の御霊に導かれた人物として称賛される。道をふさいだ人々は、自分たちのしてきた働きを自覚するであろうか。彼らは、自分たちの金銭、力、信仰、勇気が加えられていたら、働きはより強く、より影響力のあるものとなったはずであること、できたはずのことをしなかった彼らの怠慢は罪であることを認めるであろうか。……

十字架のそば近くで生きるなら、わたしたちは神がご覧になるように見ることができ、神がわたしたちに望んでおられるように働くことができる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1884 年 2 月 5 日）

**b. わたしたちは今、どのような現実に目覚めるべきですか（ヨハネ 4:35, 36）。**

「金銭は、福音の働きを何か神秘的な方法で、また目に見えない神秘的な代理人を通して実行するために、供給されることはない。神はご自分の任命した働きをなし、わたしたちの世界に真理を蒔き、魂を永遠の命へ救うために、天の窓から金銭を雨のように降らせることはなさらない。このお方はご自分の資金が人類を祝福することにおいて、ご自分の栄光のために用いられるように、ご自分の民をその管理者となさった。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

**4.　　味のある塩**

**a.　キリストを尊ぶことを求めるすべての人に、どのような忠告が与えられますか（マタイ 5:13）。**

「一人びとりの忠実な管理者は、自分の献金をほんのわずかでも減らすよりは、主の宝庫に収める賜物の割合を大きくするために、どれほどもっと熱心になることであろう。彼はだれに仕えているのであろうか。だれのために献金を用意しているであろうか。自分が享受しているすべての良きもののために、全く依存しているお方のためである。そうであれば、キリストの恵みを受けているわたしたちはだれも、御使たちがわたしたちを恥じたり、イエスがわたしたちを兄弟と呼ぶことを恥とされるような機会を与えることがないようにしよう。……

キリストの恵みを受けている人々、カルバリーの十字架を熟考している人々は、捧げる割合に関して質問したりしない。かえって、最も豊かな捧げ物も、あまりにわずかで、無限の神のひとり子という大いなる賜物に見合わないと感じるのである。自己否定を通して、最も貧しい者も、神にお返しするために何かを得る道を見出すようになる。」（管理職への勧告 200）

**b.　全地にわたって、現代の真理はどのように広められるべきですか（伝道の書 11:1, 6）。**

「地の荒れたところは、耕作されるべきである。神にへりくだってより頼み、家族が、神のぶどう畑でまだ働いていない場所に出て行き、そこに定住すべきである。真理の種を蒔くための自己犠牲の報いとして、彼らは豊かな収穫を刈り取ることになる。」（レビュー・アンド・ヘラルド 1902 年 8 月 26 日）

**c.　今日何が最も緊急な召しですか。またなぜですか（マタイ 9:36–38）。**

「神を知らない魂、またわたしたちの信仰の理由を聞く機会のなかった魂の損失は、だれが責めを負うべきであろうか。福音なく滅びつつある世に関して、教会にはどのような義務が課されているであろうか。真理を信じると主張している人々の側で、もっと決定的な自己否定がない限り、またすべての什一と献金を金庫に携えてくることにおいてもっと断固とした忠実さがない限り、またかつて実行に移されたことがないほど広い計画が立てられない限り、わたしたちは全世界に出て行って、すべての造られた者にキリストを宣布する福音の任務を果たすことはない。」（家庭伝道 1895 年 4 月 1 日）

## 木曜日 *6月21日*

**5.　　四方すべてを明るくする**

**a.　福音の任務の栄光に満ちた結果はどのようなものですか。またわたしたちはそれに参加することにより、どのように祝福を受けることができますか（黙示録18:1）。**

「全天は個々の教会員が闇の中にいる人々を啓発するために何をしているかを見るために、教会を真剣に見ている。畑は世界であり、機会は非常に多く、働きは非常に広いため、必要な要求を満たすためには、手元にある資金の割合を上回っている。何年もの間、主は、ご自分の民に自分たちの必要を引き締め、不要な資金の支出をしないように、警告してこられた。しかし、始めから終わりをご存知であるお方の勧告にもかかわらず、どれほど金銭が不必要に費やされてきたことであろう。自分たち自身の野心的な事業を追求するために、与えられてきた警告は軽く見られ、また人々の思いは誤って解釈し、脇にそれ、もしくは神の勧告はゆがめられてきた。しかし、そうすることによって、神がご自分の真理を広めることにおいて、栄光を受けられ、尊ばれることができるはずの資金そのものが、その事業のものでなくなる。主は、真理の光が地のいたるところに輝くように、恵み深くも人々を天の知的存在者と協力するための人間の代理人として採用なさることによって、人を尊んでこられた。主は世がかつて目撃した中で最も大きな争闘に参加するご自分の代理人たちを持っておられる。もし働き人たちが身を低くし、日々キリストの学校で、柔和と心のへりくだりを学ぶならば、主イエスは彼らと共に働いてくださる。キリストと共に働く同労者は、天の恩恵を人々に与えるときに、自分自身が恩恵を受けることに気づく。彼は、『物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される』ことを知る（箴言11:25）。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1894年2月27日）

## 金曜日 *6月22日*

**個人的な復習問題**

**1.　どのような意味において、文書は魂の救いの能力が限られていますか。**
**2.　什一を捧げる時期の正確さを何が明らかにしていますか。**
**3.　わたしたちはどのようにユダの罪を繰り返す危険があるかもしれませんか。**
**4.　キリストにどれだけ捧げるかを決めるとき、何を考慮すべきですか。**
**5.　世はどのように明るくされますか―わたしたちがいるからですか、いなくてもですか。**

# わたしたちの最後の機会！

**「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならない。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。」（ヨハネ 9:4）**

「わたしたちはこの地上歴史の終わりに近づきつつある。そして、神のみ働きのさまざまな支部は、かつてなかったほど多くの自己犠牲をもって、進められなければならない。」（伝道 631）

推奨文献：　教会への証 4 巻 476–485;
同上 6 巻 445–453

## 日曜日　*6 月 24 日*

**1.　　命が終わる前に**

**a.　わたしたちはどのような現実の下にいますか（ヘブル 9:27）。このことは、わたしたち一人びとり―老いも若きも、病む人も健康な人―にも何を考えさせるべきですか（ローマ 12:11）。**

「活動的な実業家が何の警告もなく倒れて、調べてみると彼の事業はもっとも複雑な状態にあることがわかるということがよくある。彼の遺産を清算しようとする際、財産の全部ではなくても、かなりの部分が弁護士費用にとられてしまい、一方、彼の祭司やキリストのみ事業は奪われることになる。主の資金の忠実な管理者である人々は、自分たちの事業がどのような状態であるかをよくわかっており、賢者のように、どのような危急にも備えておくならば、彼らの恩恵期間が突然閉じるとき、彼らは自分たちの財産を清算するように求められる人々に、このような大変な難問を残すことをしない。

多くの人々は、一見健康そうに見える間に、自分たちの遺言書を作成するという主題にもとづいて動こうとしない。しかし、この事前措置は、わたしたちの兄弟によってとられるべきである。彼らは自分たちの資金的な状態を知り、自分たちの事業がもつれることのないようにすべきである。彼らは自分たちの財産をいつでも残していけるような方法で整理すべきである。」（教会への証 4 巻 482）

**b.　わたしたちの遺言書を計画する際、何を考慮すべきですか（イザヤ 38:1）。**

**2.　終わりのために準備する**

**a.　法にかなった遺言書を作成せずに死んだがゆえに、何千ドルもの損失があるのですから、どの必要に信徒たちの注意が向けられるべきですか（コリント第一4:2）。**

「ある遺言書はあまりにもいい加減に作成されているため、律法のテストに耐えることができず、こうしてみ事業は何千ドルも失ってきた。わたしたちの兄弟は神のみ事業における忠実な僕として、この問題に関して自分たちの知性を働かせ、主ご自身のものを確保するという自分たちにおかれた責任を感じるべきである。

多くの人々はこの点において、不要な心遣いを表す。彼らは高齢者や病人に、どのような処分を計画しているかを知ろうと財産の主題を持ち出すとき、禁じられた領域に踏み込んでいると感じる。しかし、この義務は、魂の救いのためにみ言葉を説く義務とまったく同様に神聖である。ここに神の金銭や財産を手中にもつ人がいる。彼は自分の管理職を変えようとしている。彼は神がご自分のみ事業に用いるために彼に貸し与えられたものを、悪人の手に、単にその人が自分の親戚だからといって、その手に渡してしまうのであろうか。クリスチャンである人は、人の将来のためと同様に、神のみ事業のために関心を覚え、案じ、賢明に活用するために貸し与えられた主の金銭やタラントを正しく処分すべきではないだろうか。彼のそばにいる兄弟は、その人の命が絶えようとしているのと同時に、神の宝を盗もうとしているのを傍観するのであろうか。これは、彼自身にとっても、み事業にとっても、恐るべき損失である。なぜなら、資金という自分のタラントを神の真理に何の関心もない人々の手におくことによって、彼はあらゆる意味において、それを布にくるんで地に隠しているからである。」（教会への証 4 巻 479）

「兄弟がたよ、あなたがたが自分の遺言書を作成したからといって、死が一日として早く訪れることはない。遺言書によってあなたの財産を自分の親戚たちに譲渡する際、神のみ事業を忘れないようにしなさい。あなたは、このお方の財産を持ったこのお方の代理人である。だから、このお方のご要求こそあなたが第一に考えるべきことである。あなたの妻子は、もちろん貧困のうちに取り残されるべきではない。もし彼らが困窮しているのであれば、彼らのために備えがなされるべきである。しかし、単に習慣だからといって、あなたの遺言書に、困窮してもいない親戚の長いリストを連ねてはならない。」（同上 482）

**b.　わたしたちが生きても死んでも、神は一人びとりに何をおぼえるように期待しておられますか（ローマ 14:8, 12）。**

**3. 最終的な働き**

**a. この終わりの時代に、わたしたちの義務は何ですか（テサロニケ第一 5:1–6; ゼカリヤ 10:1）。わたしたちは後の雨、つまり「慰めの時」を、どのように受けることができますか（使徒行伝 3:19–21）。**

「神の栄光によって全地を明るくする神の御霊の大いなる注ぎは、啓発された民、すなわち経験によって神と共に働く共労者となるということがどういう意味かを知る民を得るまでもたらされない。わたしたちがキリストの奉仕に完全に心を尽くして献身するなら、神は限りなくご自分の御霊を注がれることによって、その事実をお認めになる。しかし、これは教会の大部分が神と共に働く共労者とならない限り、そうはならない。神は利己心と自己放縦がこれほどあらわされているときに、すなわち、もし言葉にするとすれば、カインの答えを表明するような精神—『わたしが弟の番人でしょうか』（創世記 4:9）—が蔓延しているときは、ご自分の御霊を注ぐことはおできにならないのである。」（管理職への勧告 52）

「神は、眠っており、とがと罪のうちに死んでいる世に対して警告を与える人々を召しておられる。このお方は働きに心をささげ、魂が滅びず、永遠の命を持つことができるように、彼らのために重荷を感じている人々から自由献金を求めておられる。」（教会への証 6 巻 446）

**b. 今日、個人としても、教会組織としても、わたしたちの思いの中で、何がもっとも先にあるべきですか（伝道の書 8:5; ヨハネ 9:4）。**

「わたしたちは今、自分たちの救い主の指示に注意を払っているべきである。『自分の持ち物を売って、施しなさい。自分のために古びることのない財布をつくり、……天に、尽きることのない宝をたくわえなさい』（ルカ 12:33）。今こそ、財産を増やす代わりに、削減すべきときである。わたしたちはもっと良いふるさと、すなわち天へ移るばかりである。であるから、地上に住む者とならず、できるだけ身支度を身軽に整えよう。」（同上 5 巻 152）

「何のためにわたしたちは宝を蓄えるのであろうか。終わりの日の炎に一掃されるためであろうか。わたしたちは裁きの日にわたしたちに不利な証言をするために—わたしたちの肉を火のようになめつくすために—、金銀を蓄えるのであろうか。わたしたちが敵の手に落ちるときまで自分たちの財産に執着するのであろうか。戒めの遵守者たちが売ることも買うこともできなくなるときが近づきつつある。家屋や土地、銀行株や商品は、そのときわたしたちにとって、何の役に立つであろうか。今こそ、わたしたちの宝を永遠の安全なところにおくべき時である。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1887 年 12 月 6 日）

**4. 実際的な準備**

**a. なぜキリストはまだ戻られていないのですか（ペテロ第二 3:9）わたしたちは、まもなく成就しようとしている預言のうちに、自分たちのすべての財産を失うことを、どのように避けることができますか（イザヤ 2:20; エゼキエル 7:19; 詩篇 96:2–8）。**

「もし、わたしたちの兄弟が、魂の価値をイエスがその救いのためにどれほどの価を支払ったかという光のうちに量ることを学ぶならば、魂には家屋や土地、金や宝石、あるいは栄誉ある高い地位よりもはるかに価値のあることが分かるであろうに。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1884 年 2 月 5 日）

「神の働きはもっと広範囲に及ぶべきである。そして、もし神の民が神の勧告に従うならば、彼らの財産のうちで最後の大災害のときに焼き尽くされる資金はそれほどないであろう。すべての人は、自分の宝を虫も食わず、さびもつかないところへ蓄えてしまった。そして心には、この地にそれを結びつける絆がないのである。」（管理職への勧告 60）

**b. 忠実な犠牲を通して真剣にご自分の来臨のために準備をしているすべての人に、キリストはどの約束をしておられますか（イザヤ 33:14–17）。**

「悩みの時の物質的必要のための準備をすることは、聖書に反することであることを、主は、繰り返してわたしに示された。もし聖徒たちが、自分たちのところ、または畑に食糧を貯えていたりしても、もし国に戦争、ききん、疫病が起これば、それは暴徒たちに奪い去られ、他人が畑の作物を刈るようになることを、わたしは見た。それは、われわれが神に全く信頼する時である。そして神はわれわれをお支えになる。その時に、われわれのパンと水は必ず与えられ、われわれが物に乏しかったり、飢えたりすることがないことを、わたしは見た。なぜならば、神は荒野で、われわれのために食卓の用意をすることがおできである。もし必要ならば、彼がエリヤを養われたように、われわれを養うためにからすを送ったり、あるいは、イスラエルのためになさったように、天からマナを降らせることもなさるのである。

「悩みの時に、家や土地はなんの役にも立たなくなる。その時、彼らは怒り狂った群衆から逃げなければならない。そしてその時、彼らの財産は、現代の真理の働きを推進するために用いることができないからである。聖徒たちが、悩みの時がやってくる前にすべての邪魔物を切り捨てて、犠牲によって神と契約を結ぶことが、神のみこころであることを、わたしは示された。もし彼らが、財産を祭壇の上において、なすべき務めについて、熱心に神に祈り求めるならば、神は、これらのものをいつ処理すべきかを教えてくださる。そうすれば、彼らは悩みの時に自由になり、負担となる邪魔物がなくなる。（初代文集 127, 128）

## 木曜日 *6月28日*

**5.　　高利回りの投資**

**a.　今日、どこがなし得る最善の投資先ですか。それはなぜですか（ルカ 12:32–34）。**

「わたしたちは主に対して正直になろう。わたしたちが享受するすべての祝福は、このお方から来る。そしてもしこのお方がわたしたちに資金というタラントをゆだね、ご自分のみ働きを助けることができるようにして下さったのであれば、それを出し惜しむのであろうか。わたしたちは、いいえ、主よ、と言うのであろうか。わたしの子らが喜ばないから、このお方のタラントを地に埋めて、あえて神に従わない、と。

一刻の猶予もならない。神のみ事業はあなたの援助を求めている。わたしたちは、多くの人々が何が真理かを知る機会を得るために、このお方の資金が流通するよう、主の管理者としてあなたに求める。」（管理者への勧告 44, 45）

**b.　主は、終わりの時に、どのような宣言をしておられますか（詩篇 50:3–5）。犠牲によって契約を結ぶすべての人は、どのように豊かに報いられますか（コリント第一 15:57, 58）。**

「この伝道地に入る心を尽くした無我の働き人たちのために、また喜んで彼らを支えるために貢献する人々のためにも、報いがある。伝道地で活発な奉仕に携わる人々、これらの働き人たちを支えるために、自分たちの資金から捧げる人々は、忠実な者の報いにあずかる。……

働きを支えるために実践してきた自己否定は、もはや覚えられない。彼らは自分たちがイエスに勝ちとった魂をながめるとき、神のあわれみと贖い主の愛の記念である彼らが救われ、しかも永遠に救われたのを知るとき、天蓋（てんがい）に讃美と感謝の叫びが響きわたる。」（同上 348, 349）

## 金曜日 *6月29日*

**個人的な復習問題**

1. **遺言書を作成することについて、どのような迷信が神のみ事業に弊害をもたらしていますか。**
2. **なぜ、わたしたちは遺言書を作成することについて語ることをなおざりにすべきではないのですか。**
3. **多くの人が後の雨を受けることに失敗する理由の一つは何ですか。**
4. **わたしたちは悩みの時に近づく前に何を悟るべきですか。**
5. **どのように、またいつ、天に蓄えられた宝の利子が支払われますか。**

# 第一安息日献金

## 4月7日

**ブラジル**

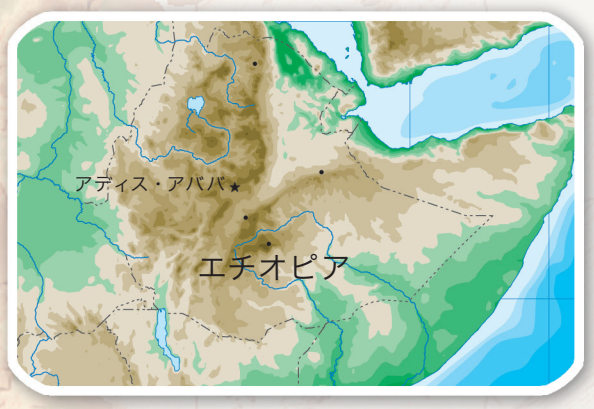
**ピンドラマの礼拝堂のために**

(4 ページ参照)

## 5月5日

**世界のミッションのために**

(25 ページ参照)




## 6月2日

**エチオピアのために**

(46 ページ参照)